

第1号古墳出土遺物(2)

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存層	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石製材は度目法)	形状・技法等の特徴	備 考
19-0043 132	須恵部 高坪	周溝内 破片	高2.0 底(14.0)	濃・赤・灰・緑・砂粒	胴部片。「ハ」の字に大きく開く。口唇部は内湾する。器厚は薄い。轆轤右回転成形。	
19-0044 132	須恵部 高坪	周溝内 破片	高(13.0)	赤・中・緑・灰・白色胎子・白色磁粉粒子	轆轤成形器右回転。「ハ」の字に開く。器厚は薄い。	須恵部か
19-0045 132	須恵部 高坪	30-D-13 破片	高3.0 底(13.7)	濃・赤・灰・緑・砂粒	胴部片。「ハ」の字に大きく開く。口唇部は直立し失る。器厚は薄い。轆轤右回転成形。	
19-0046 132	須恵部 高坪	周溝内+表 層内 破片	高2.8 底(13.0)	濃・赤・灰・緑・白胎・砂粒	胴部片。「ハ」の字に大きく開く。口唇部は直立気味。器厚は薄い。轆轤右回転成形。	
0050-09 132	須恵部 大形壺	周溝内 破片	厚0.4	赤・濃・赤・緑・灰・緑・砂粒	破片のため詳細な器形は不明。19-0052と同一器体。	東北産か
19-0051 132	須恵部 壺	周溝内 破片	底(4.0)	濃・赤・灰・赤・磁粉粒	胴部片。器厚は薄い。外面に二段の縞か凹状文を施す。上部に段を持つ。轆轤右回転。	
19-0052 132	須恵部 大形壺	周溝内 破片	厚(4.0)	赤・濃・赤・緑・灰・実磁物微粒	轆轤右回転成形。外面は縞を当てながら成形している。条痕の単位は狭い。00547-500と同一器体。	
19-0053 132	須恵部 短頸壺	周溝内 破片	口(12.0) 高3.3	濃・赤・灰・緑・赤胎・白胎	口縁部は直立し、口唇部は内湾する。器厚は薄い。轆轤右回転成形。	
19-0054 132	須恵部 壺	周溝内 破片	厚0.8	赤・中・緑・緑・灰・白色磁物粒子	紐作り後引き整形。外面は平行引き。宛具は青褐色文。	須恵部
19-0055 132	須恵部 瓶	周溝内 破片	厚0.3	赤・中・緑・緑・灰・実磁物微粒	紐作り後轆轤右回転成形。外面は厚く自然釉付着。	須恵部か

第86号土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存層	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石製材は度目法)	形状・技法等の特徴	備 考
19-0056 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚0.8	灰・赤・黒褐色・白胎	口縁部の破片。地文のみが施文される。	縄文
19-0057 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚0.8	灰・赤・黒褐色・白胎	口縁部の破片。平截竹管によって、口縁部に文様を施文する。	縄文
19-0058 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚0.7	灰・赤・鈍黄褐色・白胎・黒胎	波状口縁部の破片。平截竹管によって文様が施文される。	縄文
19-0059 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚1.0	灰・赤・鈍黄褐色・白胎・黒胎・黒胎	波部の破片。	縄文

第299号土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存層	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石製材は度目法)	形状・技法等の特徴	備 考
19-0060	土師部 杯	深土内 破片	高2.9	濃・赤・褐色・赤	口縁部片。器厚は薄い。	

第94号土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存層	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石製材は度目法)	形状・技法等の特徴	備 考
19-0061 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚0.8	灰・赤・黒褐色・白胎・黒胎	口縁部には小突起が施される。平截竹管によって文様が施文される。	縄文
19-0062 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚1.1	灰・赤・明赤褐色・白胎・黒胎	胴部の破片。地文のみが施文される。	縄文
19-0063 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚1.2	灰・赤・明赤褐色・白胎・黒胎	胴部の破片。羽状文が施文される。	縄文
19-0064 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚1.1	灰・赤・鈍褐色・白胎・黒胎	平截竹管によって文様が施文される。	縄文
19-0065 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚0.9	灰・赤・鈍黄褐色・白胎・黒胎・2層 大小	波部の破片。	縄文

第294号土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存層	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石製材は度目法)	形状・技法等の特徴	備 考
19-0066	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚1.0	灰・赤・赤・白胎・黒胎・黒胎	胴部の破片。地文のみが施文される。	

第301号土坑出土遺物(1)

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存層	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石製材は度目法)	形状・技法等の特徴	備 考
19-0067 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚1.0	灰・赤・鈍黄褐色・白胎	口縁部の破片で、文様は地文のみが施文される。	縄文
19-0068 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚1.0	灰・赤・赤・白胎・黒胎・赤胎	口縁部の破片で、文様は地文のみが施文される。	縄文
19-0069 133	縄文土器 深鉢	深土内 1/2部 破片	厚0.8	灰・赤・鈍黄褐色・白胎・黒胎・黒胎	口縁部から胴部の破片で、口唇部は平截竹管によって文様を施文している。	縄文
19-0070 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚1.0	灰・赤・赤・白胎・黒胎・赤胎	胴部の破片で、地文のみが施文される。	縄文
19-0071 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚0.8	灰・赤・鈍褐色・白胎・黒胎・黒胎	胴部の破片で、地文のみが施文される。	縄文
19-0072 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚0.7	灰・赤・鈍黄褐色・白胎・黒胎	口縁部の破片で、文様は地文のみが施文される。	縄文
19-0073 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚0.9	灰・赤・鈍褐色・白胎・黒胎	胴部の破片で、羽状文を施文する。	縄文
19-0074 133	縄文土器 深鉢	深土内 破片	厚1.1	灰・赤・浅黄褐色・白胎・黒胎	胴部の破片で、地文のみが施文される。	縄文

第301号土坑出土遺物(2)

遺物番号 採取番号	遺物種 類	出土層位 保存 存 存	度 目 (cm) 量 (g)	焼法・色調・粘土 (石素材は注目)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00075 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.6	灰・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透灰	胴部の破片で、平織竹管で沈線を施文する。	破線
10-00076 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.9	灰・赤・黄褐色・白粒・黒粒	胴部の破片で、羽状織文を施文する。	破線
10-00077 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚1.0	灰・赤・黒・白粒・黒粒	胴部の破片で、羽状織文を施文する。	破線
10-00078 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.9	灰・赤・黄褐色	胴部下から底部の破片で、胴部には羽状織文が施文される。	破線
20-00131 133	石器 石鏃	甑土内 完形	長3.50 幅4.50 厚0.90 重10.3	チャート		
20-00132 133	石器 棒錐	甑土内 完形	長5.65 幅4.60 厚1.10 重24.4	砂岩	刺先の鋭い縁辺を刃部として使用したものの、	
20-00133 133	石器 磨石	甑土内 1/2壊	長9.0 幅5.1 厚2.3 重133.6	粗粒輝石安山岩	表面面を磨面として使用している。	

第305号土坑出土遺物

遺物番号 採取番号	遺物種 類	出土層位 保存 存 存	度 目 (cm) 量 (g)	焼法・色調・粘土 (石素材は注目)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00079 133	土器類 壺	甑土内 破片	高4.9	灰・赤・黄褐色・黒・赤粒・黒粒・砂粒	胴片。彫厚は厚い。外面に磨面を施す。保存管。	

第12105号土坑出土遺物

遺物番号 採取番号	遺物種 類	出土層位 保存 存 存	度 目 (cm) 量 (g)	焼法・色調・粘土 (石素材は注目)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00080 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.7	灰・赤・黄褐色・白粒・黒粒	口縁部の破片で平織竹管によって集合沈線を施文する。	破線
10-00081 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.8	灰・赤・黄褐色・白粒・黒粒 1mm大小	胴部の破片で平織竹管によって集合沈線を施文する。	破線
10-00082 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.7	灰・赤・明赤褐・白粒・黒粒・黒粒・透灰	沈線によって文様を施文する。	破線
20-00134 133	石器 石鏃	甑土内 完形	長2.35 幅2.2 厚0.5 重2.7	黒色安山岩	無蓋平三角板形式	

第120号土坑出土遺物

遺物番号 採取番号	遺物種 類	出土層位 保存 存 存	度 目 (cm) 量 (g)	焼法・色調・粘土 (石素材は注目)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00083 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	口(22.0)	灰・赤・黄褐色・黒粒・白粒・黒粒	口縁部には点刻状の刺突を施す。胴部のくびれ部はなでて施文をつくる。	破線
10-00084 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.9	灰・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透灰	口縁部破片で、地文のみが施文される。	破線
10-00085 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚1.0	灰・赤・黄褐色・白粒・透灰・2mm大小	表沈線破片で、腹部には小突起がつく。口縁部は平織竹管によって押し引き刺突沈線文を施文する。	破線
10-00086 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚1.0	灰・赤・明赤褐・白粒・黒粒・赤粒・2～3mm大小	表沈線破片で、腹部には小突起がつく。口縁部は平織竹管によって押し引き刺突沈線文を施文する。	破線
10-00087 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚1.3	灰・赤・黒・白粒・赤粒・1～2mm大小	口縁部は平織竹管によって押し引き刺突沈線文を施文する。	破線
10-00088 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚1.0	灰・赤・黄褐色・白粒・黒粒	胴部の破片で、地文のみが施文される。	破線
10-00089 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.8	灰・赤・明赤褐・白粒・赤粒・2mm大小	胴部の破片で平織竹管によって集合沈線を施文する。	破線
10-00090 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.8	灰・赤・黄褐色・白粒・黒粒	胴部の破片で、地文のみが施文される。	破線
10-00091 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.9	灰・赤・暗灰青・白粒・黒粒・透灰	胴部の破片で平織竹管によって集合沈線を施文する。	破線
10-00092 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.8	灰・赤・明赤・白粒・黒粒・黒粒	胴部の破片で、地文のみが施文される。	破線
10-00093 133	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.8	灰・赤・暗灰青・白粒・黒粒・透灰	胴部の破片で平織竹管によって集合沈線を施文する。	破線

第126号土坑出土遺物

遺物番号 採取番号	遺物種 類	出土層位 保存 存 存	度 目 (cm) 量 (g)	焼法・色調・粘土 (石素材は注目)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00094 134	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.6	灰・赤・黄褐色・白粒・黒粒	小型の破片で、地文のみが施文される。	破線
10-00095 134	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚1.1	灰・赤・明赤褐・白粒・黒粒	口縁部が中や外側し、胴部でくびれたもので、地文のみが施文される。	破線
10-00096 134	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.8	灰・赤・黄褐色・白粒・黒粒	口縁部の破片で、地文のみが施文される。	破線
10-00097 134	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.7	灰・赤・黒・白粒・透灰	口縁部の破片で、平織竹管による押し引き刺突沈線文を施文する。	破線
10-00098 134	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚1.0	灰・赤・明赤・白粒・透灰・赤粒	胴部の破片で、羽状織文が施文される。	破線
10-00099 134	縄文土器 浮鉢	甑土内 破片	厚0.9	灰・赤・明赤・白粒・黒粒・2～3mm大小	胴部の破片で、地文のみが施文される。	破線

第144号土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 類	出土層位 深 存 度	厚 度 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石製材は黒目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-0009 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.8	胎・赤・純黄褐色・白粒・黒粒	流状口縁で、口縁部には半横竹管による沈線文を施す。	破綻
10-0060 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.7	胎・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・透紅	口縁部には半横竹管による沈線文を施す。	破綻
10-0060 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.8	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒	半横竹管による沈線文を施す。	破綻
10-0060 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.9	胎・赤・純黄・白粒・黒粒・透紅	口縁部の破片で、地文のみが施文される。	破綻
10-0064 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.7	胎・赤・橙・白粒・透紅	口縁部の破片で、地文のみが施文される。	破綻
10-0065 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.9	胎・赤・純黄褐色・白粒	胴部の破片で羽状織文を施す。	破綻
10-0066 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚1.2	胎・赤・黒褐色・白粒・透紅	胴部の破片で羽状織文を施す。	破綻
10-0067 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.7	胎・赤・黄・白粒・黒粒・透紅	胴部の破片で地文のみが施文される。	破綻
10-0068 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.7	胎・赤・純黄褐色・白粒・白底・黒粒	胴部の破片で羽状織文を施す。	破綻
10-0069 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.7	胎・赤・黄赤褐色・白粒・透紅	胴部下等から底部の破片で、地文のみが施文される。	破綻
10-0070 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚1.2	胎・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・透紅・ 7→3mm大小	底部の破片で、地文のみが施文される。	破綻
10-0071 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚1.0	胎・赤・純黄褐色・白粒・黒底・透紅	底部の破片で、地文のみが施文される。	破綻

第157号土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 類	出土層位 深 存 度	厚 度 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石製材は黒目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-0012	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚1.3	胎・赤・純黄・白粒・黒粒	胴部の破片で蛇行沈線を施す。	

第186号土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 類	出土層位 深 存 度	厚 度 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石製材は黒目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-0011 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚1.1	胎・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・透紅	流状口縁部の破片で、沈線により文様を施す。	
10-0014 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚1.2	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・黒底・ 2mm大小	流状口縁部の破片で、沈線により文様を施す。	
10-0015 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚1.0	胎・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・透紅・ 1→2mm大小	流状口縁部の破片で、沈線により文様を施す。	
10-0016 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.9	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒	平行沈線文を施す。	破綻
10-0017 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚1.3	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・黒底	胴部の破片で、沈線を垂下させている。	
10-0018 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚1.0	胎・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・黒底・ 透紅	胴部の破片で筒帯内帯を沈線で大きくで状に施文しており、筒帯の断面形状は三角形となっている。	
10-0019 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.8	胎・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・透紅・ 赤粒	筒帯帯を文様として施文している。	
10-0020 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚1.3	胎・赤・黄褐色・白粒・黒底・透紅	胴部の破片で3本1組の間を磨り削り沈線を垂下させている。	
10-0021 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.9	胎・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・黒底・ 1→2mm大小	胴土上に流状沈線文を施す。	
10-0022 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.8	胎・赤・純赤褐色・透紅・赤粒	胴部の破片で、地文のみを施す。	破綻
10-0023 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.9	胎・赤・純黄・白粒・黒粒・黒底・ 赤粒	胴部のくびれ部分から胴土上の破片で羽状織文を施す。	破綻
10-0024 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚1.2	胎・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・黒底・ 透紅	地文は垂線である。	
10-0025 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.6	胎・赤・純赤褐色・白粒・黒底・1→3 mm大小	胴部から底部の破片で、胴部は地文のみを施す。	破綻
10-0026 134	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.9	胎・赤・純黄・白粒・黒底・透紅	胴部から底部の破片で、胴部は地文のみを施す。	破綻
10-0120 134	石器 琢磨	Ⅲ土内 完整	長4.2 幅10.6 厚1.65 重79.9	黒色安山岩	素材の割片の鋭い縁部を利用し、調整跡は最小限にとどめられている。	
10-0126 134	石器 打製石片	Ⅲ土内 1/2残	長6.9 幅4.0 厚1.6 重51.3	細粒輝石安山岩	基部は刃部の一部を欠損する。刃部には磨痕が見られる。	
10-0137 134	石器 打製	Ⅲ土内 1/2残	長15.75 幅23.25 厚2.2 重5.489	粗粒輝石安山岩	縁付きのもので、裏面には凹部が1箇所認められる。表裏面に磨痕が見られる。	
10-0138 134	石器 磨行	Ⅲ土内 完整	長10.2 幅2.2 厚5.5 重150.5	粗粒輝石安山岩	縁部に近いもので全体を磨っており、特に表裏面の範囲内には使用の磨痕で磨面が光沢を持つ。縁部に磨行を確認。	

第188号土坑出土遺物(1)

遺物番号 図説番号	遺物種 類	出土層位 深 存 度	厚 度 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石製材は黒目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-0027 135	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.8	胎・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・透紅	胴部のくびれ部分の破片で、地文のみを施す。	破綻
10-0028 135	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚0.9	胎・赤・純黄・白粒・透紅	胴部の破片で、地文のみを施す。	破綻
10-0029 135	縄文土器 深鉢	Ⅲ土内 破片	厚1.0	胎・赤・純赤褐色・白粒・透紅	胴部の破片で、地文のみを施す。	破綻

第188号土坑出土遺物(2)

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	量 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石室材は量目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00620 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.1	黒・赤・鈍黄・白粒・黒灰・透灰	胴部の破片で、地文のみを施文する。	継続
10-00631 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	黒・赤・鈍黄・白粒・透灰	胴部のくびれ部分の破片で、コンパス文を施文する。	継続
10-00632 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	黒・赤・鈍黄・白粒・黒灰・透灰	胴部から底部の破片で、地文のみを施文する。	継続
10-00633 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	黒・赤・橙・白粒・黒灰	胴部の小破片である。	継続

第212号土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	量 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石室材は量目値)	形状・技法等の特徴	調査
20-00139 134	石器 打製石斧	覆土内 一部欠損	長9.45 幅5.8 厚1.9 重96.9	黒色頁岩	基部の一部を欠損する。刃部は鋭角である。	

第213号B土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	量 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石室材は量目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00634 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	黒・赤・鈍黄・白粒・黒灰・透灰	口縁部の破片である。沈線によって文様を施文している。	
10-00635 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.2	黒・赤・橙・白粒・黒灰・透灰	胴部の破片で周を磨り削り沈線文を施下させている。	
10-00636 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.2	黒・赤・橙・白粒・黒灰・透灰・赤粒	胴部の破片で縦行沈線文を施文する。	

第215号土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	量 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石室材は量目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00637 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.3	黒・赤・鈍黄・白粒・黒灰・透灰・ 1～2mm大小	底部に近い胴部の破片で、ごく浅いで状の沈線を施下させる。	

第219号土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	量 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石室材は量目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00638 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	黒・赤・橙・白粒・黒灰・透灰	周を磨り削り沈線文を胴部に施下させる。	
10-00639 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	黒・赤・鈍黄・白粒・黒灰・透灰	周を磨り削り沈線文を胴部に施下させる。	

第224号土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	量 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石室材は量目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00640 135	土師器 坪	覆土内 破片	高2.5	黒・赤・鈍黄・赤・細砂粒	口縁部片。器厚は厚い。小片のため器形は不明。	

第240号土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	量 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石室材は量目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00641	土師器 深鉢	破片	厚0.6	黒・赤・明黄・赤・砂粒	胴部片。器厚は厚い。小片のため器形は不明。	

第255号土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	量 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石室材は量目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00642 133	土師器 坪	覆土内 破片	口(14.0) 高2.8	黒・赤・鈍黄・赤・白粒・細砂粒	口縁部片。器厚は厚い。内面に沈線を施す。	
10-00643 133	土師器 坪	覆土内 破片	高3.4	黒・赤・鈍黄・赤・赤肉	口縁部片。外縁する。器厚は厚い。器底は磨らぬ。	
10-00644 133	深鉢 1/4残	覆土内 1/4残	高1.5 底(5.7)	黒・赤・鈍黄・白粒・黒灰・透灰・白粒	底部の器厚は厚い。輪縁右側形成部、底部は磨削未切り。	
10-00645	土師器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	黒・赤・黄灰・赤	口縁部片。器厚はやや厚い。小片のため器形は不明。	

第258号土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	量 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石室材は量目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00646	深鉢 坪	覆土内 破片	高1.5	黒・赤・灰・赤・白粒	口縁部片。器厚は厚い。輪縁右側形成部。小片のため器形は不明。	

第256号土坑出土遺物

遺物番号 図説番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	量 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石室材は量目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00647	土師器 高坪	破片	厚0.5	黒・赤・鈍黄	胴部片。器厚は厚い。小片のため器形は不明。	

第260号土坑出土遺物

遺物番号 図録番号	遺物種類	出土層位 遺存層	量目 量目 (g)	構成・色調・胎土 (石素材は産目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00645	須恵系 杯	覆土内 破片	高さ2.2	黒・赤・灰・黄・緑・赤砂	口縁部片。器厚は薄い。轆轤右回転成形。小片のため形状は不明。	
10-00645	土師系 壺	覆土内 破片	厚0.8	黒・赤・黄緑・赤・砂粒・透明粒子	胴部片。器厚は厚い。小片のため形状は不明。	
10-00650	須恵系 高杯	覆土内 破片	高さ2.8	黒・赤・黄緑・赤・赤粒・白粒	胴部片。器厚は厚い。三方透。割性が強い。	

第284号土坑出土遺物

遺物番号 図録番号	遺物種類	出土層位 遺存層	量目 量目 (g)	構成・色調・胎土 (石素材は産目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00651	須恵系 球ノリ埴	覆土内 破片	厚0.6	黒・赤・黄緑・黒・赤粒・内閃石	轆轤右回転成形。	産田産

第279号A土坑出土遺物

遺物番号 図録番号	遺物種類	出土層位 遺存層	量目 量目 (g)	構成・色調・胎土 (石素材は産目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00652 135	土師系 坪	覆土内 破片	口17.1 高さ3.2	黒・赤・黄緑・赤・赤角	口縁部片。器厚は薄く均質。口縁部は横断で、内面は研物を施す。	
10-00653 135	土師系 羽輪	覆土内 破片	口21.9 高さ5.5	黒・赤・黄緑・赤・黒粒・赤粒	口縁部片。厚さの内側する。器厚は均質。口縁部は横断で、薄板に仕上げ。	

第282号土坑出土遺物

遺物番号 図録番号	遺物種類	出土層位 遺存層	量目 量目 (cm)	構成・色調・胎土 (石素材は産目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00654 135	須恵系 杯	覆土内 破片	口13.6 高さ4.5	中・赤・黄緑・赤・黒粒・赤粒	口縁部は外反する。器厚は均質。轆轤右回転成形。轆轤目は不明。	
10-00655	須恵系 壺	覆土内 破片	高さ1.8	中・赤・黄緑・赤・黒粒	胴部片。器厚は厚い。右回転成形。	図202号土坑
10-00656 135	須恵系 壺	覆土内 1/4塊	高さ2.1 底径6.0	黒・赤・灰・赤・黒粒・白粒	器厚は均質。轆轤右回転成形。付高白。	

第286号土坑出土遺物

遺物番号 図録番号	遺物種類	出土層位 遺存層	量目 量目 (cm)	構成・色調・胎土 (石素材は産目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00657 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	黒・赤・黄緑・白粒・黒粒・赤粒	割部には穴開によって整面を施す。	
10-00658 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.2	黒・赤・黄緑・白粒・黒粒・赤粒	割部には穴開によって文様を施す。	
20-00140 135	石器 打製石斧	覆土内 1/4塊	長さ10.8 幅4.70 厚1.55 重量99.3	黒色頁岩	刃部のごく一部を欠損する。刃部は偏打である。表面もともにも磨面は施さな。	

第12001号土坑出土遺物

遺物番号 図録番号	遺物種類	出土層位 遺存層	量目 量目 (g)	構成・色調・胎土 (石素材は産目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00659 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	黒・赤・黄緑・白粒・黒粒・赤粒	口縁部の破片で、地文のみが施文されている。	編織
10-00660 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	黒・赤・黄緑・白粒・黒粒・赤粒	口縁部の破片で、地文のみが施文されている。	編織
10-00661 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	黒・赤・黄緑・白粒・黒粒	口縁部の破片で、地文のみが施文されている。	編織
10-00662 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	黒・赤・黄緑・白粒	口縁部の破片で、穴開によって文様を施文している。	編織
10-00663 135	縄文土器 深鉢	覆土内 1/5塊	高さ10.3	黒・赤・黄緑・白粒・黒粒・赤粒	割部と器身の破片である。割部には羽状文を施す。器身は磨りゆめらるるも別も使用している。	編織
10-00664 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.1	黒・赤・黄緑・白粒・黒粒・赤粒	割部の破片で、地文のみが施文されている。	編織
10-00665 135	縄文土器 土製内蓋	覆土内 破片	長さ3.0 厚0.8	黒・赤・黄緑・白粒・黒粒	土製内蓋で、割部片を使用している。	編織

第12004号土坑出土遺物

遺物番号 図録番号	遺物種類	出土層位 遺存層	量目 量目 (cm)	構成・色調・胎土 (石素材は産目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00666 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	黒・赤・黄緑・白粒・赤粒・2~3mm 大小赤粒	割部の破片で、羽状文が施文されている。	編織
10-00667 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	黒・赤・黄緑・白粒・黒粒	口縁部の破片で、地文のみが施文されている。	編織

第12005号土坑出土遺物

遺物番号 図録番号	遺物種類	出土層位 遺存層	量目 量目 (cm)	構成・色調・胎土 (石素材は産目録)	形状・技法等の特徴	備 考
20-00141	石器 打製石斧	覆土内 1/4塊	高さ5.05 長さ10.80 厚1.15 重量23.2	黒色頁岩	磨削のため、基部のみが残存する。表面に大きく磨面を施す。	

富田下大日遺跡 諸元

第12008号土坑出土遺物

遺物番号 図記番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存層	度目 量目 (cm) (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は度目欄)	形状・技法等の特徴	調査
10-00666 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.6	黒・灰・黄緑・白粒・透氣・2mm大小礫	割部の破片で、地文のみが施文されている。	継続
10-00669 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.4	黒・灰・黄・白粒・黒炭・透氣	割部の破片で、地文のみが施文されている。	継続
20-00142 135	石器 磨石	覆土内 完形	長0.05 幅0.90 厚0.15 重40.1	黒色頁岩	素材形状を再利用して、調整跡は最小限にとどめる。	

第12009号土坑出土遺物

遺物番号 図記番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存層	度目 量目 (cm) (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は度目欄)	形状・技法等の特徴	調査
10-00670 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	黒・灰・鈍赤褐・白粒・2～3mm大小礫	口縁部の破片で、羽状織文を施文している。	継続
10-00671 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	黒・灰・浅黄緑・白粒・透氣	割部の破片で、地文のみが施文されている。	継続

第12010号土坑出土遺物

遺物番号 図記番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存層	度目 量目 (cm) (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は度目欄)	形状・技法等の特徴	調査
10-00672 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	黒・灰・黄・白粒・黒炭	半軟竹管によって文様を施文する。	継続

第12019号土坑出土遺物

遺物番号 図記番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存層	度目 量目 (cm) (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は度目欄)	形状・技法等の特徴	調査
10-00673 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	黒・灰・浅黄緑・白粒・黒炭	口縁部の破片で、地文のみが施文されている。	継続

第12021号土坑出土遺物

遺物番号 図記番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存層	度目 量目 (cm) (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は度目欄)	形状・技法等の特徴	調査
10-00674 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	黒・灰・鈍赤褐・白粒・黒炭・透氣・2～3mm大小礫	口縁部は貝殻器により削突を行い、割部は貝殻器跡によりロッキングが施されている。	

第12033号土坑出土遺物

遺物番号 図記番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存層	度目 量目 (cm) (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は度目欄)	形状・技法等の特徴	調査
10-00675 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	黒・灰・灰白・白粒・白粒・2mm大小礫	黒文の割部の破片である。	

第12043号土坑出土遺物

遺物番号 図記番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存層	度目 量目 (cm) (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は度目欄)	形状・技法等の特徴	調査
10-00676 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	黒・灰・浅黄緑・白粒・黒炭・黒炭	口縁部の破片である。半軟竹管によって比喩文を施文する。	継続

第12027号土坑出土遺物

遺物番号 図記番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存層	度目 量目 (cm) (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は度目欄)	形状・技法等の特徴	調査
10-00677 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚2.0	黒・灰・黄・白粒・黒炭	集合糸織を施文する。棒状突起と、円形文を貼付している。10-00678と同一個体。	
10-00678 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	黒・灰・明赤褐・白粒・黒炭・2～4mm大小礫	割部の破片で、集合糸織を施文する。	
10-00680 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	黒・灰・鈍赤褐・白粒・黒炭・透氣	集合糸織を施文する。	
20-00143 136	石器 磨石	覆土内 完形	長0.70 幅1.70 厚4.30 重304.1	粗粒輝石頁岩	縦状に言いもで縁部も使用するが、表面部の使用が顕著である。	

第12028号土坑出土遺物

遺物番号 図記番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存層	度目 量目 (cm) (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は度目欄)	形状・技法等の特徴	調査
10-00681 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	黒・灰・鈍赤褐・白粒・黒炭	割部の破片で、地文のみが施文されている。	
10-00682 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	黒・灰・黄・白粒・黒炭	割部の破片で、羽状織文が施文されている。	
20-00144 136	石器 磨石	覆土内 完形	長0.45 幅1.20 厚2.05 重28.9	黒色頁岩	素材の形状を利用して、調整跡は最小限にとどめる。	

第12045号土坑出土遺物(1)

遺物番号 図記番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存層	度目 量目 (cm) (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は度目欄)	形状・技法等の特徴	調査
10-00683 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	黒・灰・鈍赤・白粒・黒炭・透氣	口縁部の破片で、集合糸織を施文する。口縁部下には縁帯を貼付し、縁部上には刷毛を施文している。	
10-00684 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	黒・灰・鈍赤褐・白粒・黒炭	集合糸織を施文する。10-00683と同一個体と考えられる。	

第12045号土坑出土遺物(2)

遺物番号 採取番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存 存在 度	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・粘土 (石灰材は灰目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00685 126	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.6	焼・赤・明褐色・白粒・黒粒・黒底・ 2～5mm大小	集合紋線を施す。	

第12050号土坑出土遺物

遺物番号 採取番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存 存在 度	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・粘土 (石灰材は灰目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00686	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	焼・赤・鈍黄緑・白粒・黒粒・透紙	集合紋線を施す。円形貼付文を施す。	
20-00145	石器 打製石斧	覆土内 完整	長10.80 幅7.30 厚5.50 重304.1	粗粒輝石夾山岩	表面に1箇所、裏面に2箇所浅い凹部を持つ。裏面に彫行 紋線図。又裏面と左側面は磨面としても使用されている。	

第12068号土坑出土遺物

遺物番号 採取番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存 存在 度	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・粘土 (石灰材は灰目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00687	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	焼・赤・橙・白粒・透紙	割部の小破片である。	

第12071号土坑出土遺物

遺物番号 採取番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存 存在 度	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・粘土 (石灰材は灰目録)	形状・技法等の特徴	備 考
20-00146	石器 打製石斧	覆土内 破片	長4.30 幅4.20 厚1.40 重15.1	黒色頁岩	基部の一部のみが残存する。表面に磨面が残る。	

第12076号土坑出土遺物

遺物番号 採取番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存 存在 度	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・粘土 (石灰材は灰目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00688 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.3	焼・赤・明赤褐色・白粒・黒粒・黒底	口縁部の破片である。	
10-00689 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.1	焼・赤・橙・白粒・黒粒・黒底	割部の破片である。文様は紋線を垂下させる。	
10-00690 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.3	焼・赤・橙・白粒・黒粒・透紙・1 ～2mm大小	割部の破片である。文様は紋線を垂下させる。	
10-00691 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.2	焼・赤・橙・白粒・黒粒・透紙	割部の破片である。文様は紋線を垂下させる。	
10-00692 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	口28.80 底7.60	焼・赤・明褐色・白粒・黒粒・砂粒	口縁部は内湾する。割部とは紋線で区画する。地文は多量 である。	
10-00693 136	縄文土器 深鉢	覆土内 1/2破片	口32.60 底8.9	焼・赤・橙・白粒・砂粒・黒底	割部には割部と区画する紋線を添う。割部には多量 文として施文する。浅くやや大きい条線が浮かれている。	
20-00147 136	石器 打製石斧	覆土内 一部欠損	長14.20 幅6.50 厚2.15 重207.2	灰色夾山岩	基部を欠損する。写部に最大幅を持つ。	

第12101号土坑出土遺物

遺物番号 採取番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存 存在 度	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・粘土 (石灰材は灰目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00694	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	焼・赤・鈍黄緑・白粒・黒粒・黒底・ 透紙・2～3mm大小	口縁部の破片で、集合紋線を施す。円形、楕円貼付文 を施す。楕円貼付文上には刺突が加えられる。	
10-00695	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	焼・赤・明褐色・白粒・黒粒・透紙	割部の破片で、地文のみが施文される。	

第12104号土坑出土遺物

遺物番号 採取番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存 存在 度	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・粘土 (石灰材は灰目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00696	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	焼・赤・明褐色・白粒・透紙・1～2 mm大小	割部の破片で厚縁文を施す。厚縁文上には刺突を施し ている。	

第12166号土坑出土遺物

遺物番号 採取番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存 存在 度	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・粘土 (石灰材は灰目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00697 126	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	焼・赤・橙・白粒・黒粒・2mm大小	口縁部の破片である。	
10-00698 126	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	焼・赤・鈍黄緑・白粒・黒粒・1～2 mm大小	波状口縁部の大型の突起部分の破片で、集合紋線を施文 している。	
10-00699 126	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	焼・赤・鈍黄緑・白粒・透紙・1mm次 小粒	割部の小破片である。	
20-00148 126	石器 打製石斧	覆土内 一部欠損	長10.25 幅5.10 厚109.9	灰色夾山岩	基部の一部を欠損。写部は破損後加工される。写部に磨 痕が認められる。	

第12167号土坑出土遺物(1)

遺物番号 採取番号	遺物種類 器種	出土層位 遺存 存在 度	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・粘土 (石灰材は灰目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00700	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.4	焼・赤・鈍黄緑・白粒・黒底	口縁部の破片である。	
10-00701	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.3	焼・赤・鈍黄緑・白粒・黒底	口縁部の破片である。	
10-00702	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.4	焼・赤・鈍黄緑・白粒・黒底・透紙	割部の小破片である。	

第12167号土坑出土遺物(2)

遺物番号 図取番号	遺物類 器種	出土層位 遺存層	寸法 縦径 (cm) 横径 (g)	焼成・色調・胎土 (石炭材は度目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00763	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚1.1	黒・灰・白粒・黒炭・2mm大小 微	胴部の破片で、2本1組の間を磨り滑せ残線を下下させる。	
10-00764	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚1.4	黒・灰・明赤陶・白粒・黒粒・黒炭	胴部の破片で、2本1組の間を磨り滑せ残線を下下させる。	

第12169号土坑出土遺物

遺物番号 図取番号	遺物類 器種	出土層位 遺存層	寸法 縦径 (cm) 横径 (g)	焼成・色調・胎土 (石炭材は度目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00765	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚0.8	黒・灰・浅黄陶・白粒・黒粒・黒炭・透 気	胴部の破片で、地文は赤線である。	

第12170号土坑出土遺物

遺物番号 図取番号	遺物類 器種	出土層位 遺存層	寸法 縦径 (cm) 横径 (g)	焼成・色調・胎土 (石炭材は度目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00766	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚1.3	黒・灰・白・粒・黒粒・黒炭・透 気	胴部付近の小破片である。	

第12173号土坑出土遺物

遺物番号 図取番号	遺物類 器種	出土層位 遺存層	寸法 縦径 (cm) 横径 (g)	焼成・色調・胎土 (石炭材は度目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00767	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚0.8	黒・灰・浅黄陶・白粒・黒炭	胴部の上半の破片である。	

第12174号土坑出土遺物

遺物番号 図取番号	遺物類 器種	出土層位 遺存層	寸法 縦径 (cm) 横径 (g)	焼成・色調・胎土 (石炭材は度目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00768	土師器 壺	層土内 破片	高2.3	黒・灰・鈍黄陶・灰・砂粒	口縁部片。小片のため器形は不明。	
10-00769	須恵器 壺	層土内 破片	厚0.7	黒・灰・灰白・灰・ナ内	胴部片。磨蝕付。小片のため器形は不明。	
10-00770	土師器 手づね	層土内 破片	高3.6 底3.0	黒・灰・浅黄・灰・赤粒・長石	底部片。器厚は厚い。底部外面は未調整。	

第12175号土坑出土遺物

遺物番号 図取番号	遺物類 器種	出土層位 遺存層	寸法 縦径 (cm) 横径 (g)	焼成・色調・胎土 (石炭材は度目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00771	土師器 壺	層土内 破片	厚0.5	黒・灰・浅黄・灰・砂粒	口縁部片。磨蝕付。小片のため器形は不明。	
10-00772	土師器 壺	層土内 破片	厚0.8	黒・灰・明赤・灰・滑り砂粒・砂粒	胴部片。器厚は厚い。粘土層の接合部が明確。小片のため器形は不明。	
10-00773	須恵器 壺	層土内 破片	厚1.1	黒・灰・灰・硬・細砂粒	胴部片。器厚は厚い。磨蝕付。小片のため器形は不明。	

第12176号土坑出土遺物

遺物番号 図取番号	遺物類 器種	出土層位 遺存層	寸法 縦径 (cm) 横径 (g)	焼成・色調・胎土 (石炭材は度目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00774	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚0.8	黒・灰・明赤陶・白粒・黒炭	口縁部の破片。地文のみ黒文である。	

第12177号土坑出土遺物

遺物番号 図取番号	遺物類 器種	出土層位 遺存層	寸法 縦径 (cm) 横径 (g)	焼成・色調・胎土 (石炭材は度目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00775	土師器 深鉢	層土内 破片	厚0.7	黒・灰・白・硬・赤粒・黒炭・粗粒 砂	口縁部片。磨蝕付。	

第12185号土坑出土遺物

遺物番号 図取番号	遺物類 器種	出土層位 遺存層	寸法 縦径 (cm) 横径 (g)	焼成・色調・胎土 (石炭材は度目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00776	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚0.9	黒・灰・鈍黄陶・白粒・黒炭	胴部の破片である。間を磨り滑せ残線を下下させる。	
10-00777	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚1.1	黒・灰・浅黄陶・白粒・黒粒	胴部下半の破片である。なで状の残線を下下させる。	
10-00778	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚0.7	黒・灰・浅黄・白粒・黒炭・透 気・1mm大小微	地文は赤線である。	
20-0049	石製 磨製石器	層土内 完整	長5.10 幅3.40 厚1.25 重30.1	黒色頁岩	最小限の調整を加えるのみである。	

第12186号土坑出土遺物(1)

遺物番号 図取番号	遺物類 器種	出土層位 遺存層	寸法 縦径 (cm) 横径 (g)	焼成・色調・胎土 (石炭材は度目値)	形状・技法等の特徴	調査
10-00779	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚1.3	黒・灰・浅黄陶・白粒・黒炭・透 気	口縁部の破片である。	
10-00780 136	縄文土器 深鉢	層土内 破片	□(28.4)	黒・灰・鈍黄陶・白粒・黒炭・赤 粒	4単位と考えられる突起が口縁部につく。口縁部の文様は 相引区画の上辺がびつて湾曲きとなるものである。	
10-00781	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚0.9	黒・灰・浅黄陶・白粒・黒炭	胴部の破片で、間を磨り滑せ残線を支文とする。	

第12186号土坑出土遺物(2)

遺物番号 図版番号	遺物種類	出土層位 遺存層	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は灰目録)	形状・技法等の特徴	調査
10-00722	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚1.4	焼・並・褐色・白粒・黒粒・透紅	口縁部文様の破片である。	
10-00723	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚1.4	焼・並・褐色・白粒・黒粒・透紅	地文のみを施文する。割部の破片である。	
10-00724	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚0.7	焼・並・褐色・白粒・黒粒・透紅	地文のみを施文する。割部の破片である。	
10-00725	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚0.9	焼・並・褐色・白粒・黒粒・透紅	地文のみを施文する。割部の破片である。	
10-00726	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚1.5	焼・並・褐色・白粒・黒粒・黒底	底部の破片である。	
20-00150	石製 磨盤	層土内 完形	長3.0 幅7.45 厚1.30 重27.3	黒色頁岩	素材となる破片の形状を利用して使用している。	
20-00151	石製 砥石	層土内 1/2残	長4.8 幅5.9 厚1.8 重26.9	頁石	板状で、側縁部は面取りがなされている。	

第310号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種類	出土層位 遺存層	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は灰目録)	形状・技法等の特徴	調査
10-00727	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚1.2	焼・並・褐色・白粒・黒粒・黒底・ 2～3mm大小礫	口縁部の破片。磨盤・透紅によって文様を施文している。	
10-00728	縄文土器 深鉢	層土内 破片	厚1.0	焼・並・褐色・白粒・黒粒・黒底	割部破片。地文のみが施文される。	

第276号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種類	出土層位 遺存層	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は灰目録)	形状・技法等の特徴	調査
10-00729	土器 深鉢	層土内 1/4残	口21.0 高17.6 胴縁22.8	焼・並・緑・黒底・透紅・白粒・ 砂粒	口縁部は「コ」の字割れ。器厚は厚く均質。口縁部は磨盤 で、割部外周は下手を磨削り、土手を真鍮に磨る。	
10-00730	土器 深鉢	層土内 破片	高2.3	中・密・浅黄・並・黒底・白粒・白 粒	口縁部片。器厚は薄し。	
10-00731	深鉢 深鉢	層土内 破片	高2.0 重(6.0)	中・粗・鈍黄・並・赤粒・黒底・ 透紅	底部片。器厚は厚い。磨盤石割れ形状。底部は凹形未切り。	

第168号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種類	出土層位 遺存層	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は灰目録)	形状・技法等の特徴	調査
20-00152	石製 石皿	層土内 完形	長22.2 幅15.55 厚6.1 重3.552		側面は縦溝を入り、平らに磨削し磨きやすく加工している。	調査

遺構外出土遺物(1)～1

遺物番号 図版番号	遺物種類	出土層位 遺存層	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は灰目録)	形状・技法等の特徴	調査
10-00732	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	焼・並・明赤・白粒・黒底・透紅	口縁部の破片で、口唇部にも縄文を施文している。	
10-00733	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	焼・並・鈍黄・白粒・黒底	割部の破片である。	
10-00734	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	焼・並・浅黄・白粒・透紅	口縁部には磨盤印文文を施文する。割部は引状縄文が施文 される。	調査
10-00735	縄文土器 深鉢	破片	厚1.5	焼・並・鈍黄・白粒・透紅	口縁部には磨盤印文文を施文する。	調査
10-00736	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	焼・並・浅黄・白粒・黒粒・黒底・ 2～3mm大小礫	口縁部には磨盤印文文を施文する。	調査
10-00737	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	焼・並・橙・白粒・黒底・透紅	口縁部には磨盤印文文を施文する。	調査
10-00738	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	焼・並・鈍黄・白粒・黒底	口縁部には磨盤印文文を施文する。割部は引状縄文が施文 される。	調査
10-00739	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	焼・並・明赤・白粒・黒底・透紅	無文の口縁部である。	調査
10-00740	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	焼・並・鈍黄・白粒	割部の破片で、6段条の縄文を施文する。	調査
10-00741	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	焼・並・鈍黄・白粒・透紅	割部の破片で、引状縄文を施文する。	調査
10-00742	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	焼・並・橙・白粒・透紅	割部の破片で、引状縄文を施文する。	調査
10-00743	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	焼・並・鈍黄・白粒・透紅	割部の破片で、引状縄文を施文する。	調査
10-00744	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	焼・並・橙・白粒・透紅・1～2mm 大小礫	割部の破片で、引状縄文を施文する。	調査
10-00745	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	焼・並・明赤・白粒・黒底	割部の破片で、引状縄文を施文する。	調査
10-00746	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	焼・並・鈍黄・白粒・黒底・透紅	割部の破片で、引状縄文を施文する。	調査
10-00747	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	焼・並・鈍黄・白粒・黒底・透紅	割部の破片で、引状縄文を施文する。	調査
10-00748	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	焼・並・橙・白粒・透紅	割部の破片である。	調査
10-00749	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	焼・並・明赤・白粒・黒底・透紅・ 2mm大小礫	割部の破片である。	調査

遺構外出土遺物(1)～2

遺物番号 図録番号	遺物の 名称	出土層位 遺存層	厚さ 目(mm)	径 目(mm)	構成・色調・胎土 (石素材は厚目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-0070	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		黒・赤・明褐色・白粒・黒灰	底部周辺の破片である。羽状縄文を施文する。	編年
10-0071	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4		黒・赤・明褐色・白粒・黒灰	底部周辺の破片である。羽状縄文を施文する。	編年
10-0072	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		黒・赤・明褐色・白粒	底部周辺の破片である。羽状縄文を施文する。	編年
10-0073	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		黒・赤・浅黄褐色・白粒・黒灰	底部周辺の破片である。羽状縄文を施文する。	編年
10-0074	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2		黒・赤・黄褐色・白粒・透磁	底部周辺の破片である。羽状縄文を施文する。	編年
10-0075	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		黒・赤・明褐色・白粒・黒灰	天辺状の底部の破片である。	編年
10-0076	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7		黒・赤・明褐色・白粒・黒灰	底部部に小突起のつく口縁部の破片で、半段竹管による広縁文を施文する。	編年
10-0077	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		黒・赤・橙・白粒・透磁	半縁の口縁部の破片で、半段竹管によって2段、文様を施文する。	編年
10-0078	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		黒・赤・橙・白粒・透磁・赤粒	半縁の口縁部の破片で、半段竹管によって2段を施文している。羽状縄文を施文する。	編年
10-0079	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		黒・赤・褐色・白粒・透磁	口縁部の破片で、羽状縄文を施文する。	編年
10-0080	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		黒・赤・黒褐色・白粒・黒灰・透磁	口縁部の破片で、羽状縄文を施文する。	編年
10-0081	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1		黒・赤・褐色・白粒・黒灰・透磁	口縁部の破片で、羽状縄文を施文する。	編年
10-0082	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		黒・赤・明褐色・白粒・黒灰	口縁部の破片で、羽状縄文を施文する。	編年
10-0083	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		黒・赤・黄褐色・白粒・黒灰・透磁	口縁部の破片で、半段丸・耳の縄文を地文として施文する。	編年
10-0084	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		黒・赤・浅黄褐色・白粒・黒灰・透磁	口縁部の破片で、0段多条の縄文を地文として施文する。	編年

遺構外出土遺物(2)～1

遺物番号 図録番号	遺物の 名称	出土層位 遺存層	厚さ 目(mm)	径 目(mm)	構成・色調・胎土 (石素材は厚目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-0085	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		黒・赤・明褐色・白粒・透磁	口縁部の破片で、半段LRの縄文を地文として施文する。	編年
10-0086	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		黒・赤・浅黄褐色・白粒・黒灰	口縁部の破片で、半段LRの縄文を地文として施文する。	編年
10-0087	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		黒・赤・褐色・白粒・黒灰	口縁部の破片で、半段LRの縄文を地文として施文する。	編年
10-0088	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7		黒・赤・明褐色・透磁	口縁部の破片で、半段LRの縄文を地文として施文する。	編年
10-0089	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7		黒・赤・明褐色・白粒・黒灰	口縁部の破片で、半段LRの縄文を地文として施文する。	編年
10-0090	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		黒・赤・橙・白粒・透磁	半段竹管によって集合比縁を施文する。	編年
10-0091	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7		黒・赤・黄褐色・白粒・黒灰	半段竹管によってコンパス文を施文する。	編年
10-0092	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		黒・赤・黄褐色・白粒・黒灰	半段竹管によってコンパス文を施文する。	編年
10-0093	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		黒・赤・橙・白粒・黒灰	半段竹管によってコンパス文を施文する。	編年
10-0094	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2		黒・赤・黄褐色・白粒・透磁? 6mm小突起	半段竹管によってコンパス文を施文する。	編年
10-0095	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		黒・赤・明褐色・白粒・黒灰	半段竹管によって押し引き網文を施文する。	編年
10-0096	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		黒・赤・黄褐色・白粒・黒灰・透磁・3mm小突起	半段竹管によって平行比縁文を施文する。	編年
10-0097	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		黒・赤・橙・白粒・黒灰・透磁	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	編年
10-0098	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1		黒・赤・明褐色・白粒・黒灰・透磁	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	編年
10-0099	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		黒・赤・赤褐色・白粒・黒灰・透磁	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	編年
10-0100	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		黒・赤・浅黄褐色・白粒・黒灰	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	編年
10-0101	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		黒・赤・黄褐色・白粒・黒灰	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	編年
10-0102	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7		黒・赤・橙・白粒・透磁	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	編年
10-0103	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		黒・赤・褐色・白粒・黒灰	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	編年
10-0104	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1		黒・赤・橙・白粒・黒灰・3mm小突起	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	編年
10-0105	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4		黒・赤・黄褐色・白粒・黒灰	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	編年
10-0106	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		黒・赤・黄褐色・白粒・透磁	胴部の破片で0段多条の縄文を地文として施文する。	編年
10-0107	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		黒・赤・橙・白粒・黒灰・透磁	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	編年

遺構外出土遺物(2)-2

遺物番号 図説番号	遺物種類 遺物名	出土層位 遺存層	数量 目 (個)	重量 目 (g)	構成・色調・胎土 (石質材は厚目録)	形状・技法等の特徴	調査
10-00784	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		藍・赤・浅黄緑・白粒・黒底	胴部の破片で9段多条の縄文を地文として施文する。	確認
10-00789	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3		藍・赤・明赤褐・白粒・透藍・2mm 大小礫	胴部の破片で磨りのゆるい縄文を地文として施文する。	確認
10-00790	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1		藍・赤・明赤・白粒・黒底・透藍	胴部の破片で9段多条の縄文を地文として施文する。	確認
10-00791	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2		藍・赤・橙・白粒・黒底	胴部の破片で9段多条の縄文を地文として施文する。	確認
10-00792	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		藍・赤・鈍黄緑・白粒・透藍	胴部の破片で9段多条の縄文を地文として施文する。	確認
10-00793	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		藍・赤・褐・白粒・透藍	胴部の破片で9段多条の縄文を地文として施文する。	確認
10-00794	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1		藍・赤・明赤褐・白粒・透藍・2mm 大小礫	胴部の破片で磨りのゆるい縄文を地文として施文する。	確認
10-00795	縄文土器 深鉢	破片	厚1.5		藍・赤・明赤褐・白粒・黒底・透藍・2mm 大小礫	胴部の破片で9段多条の縄文を地文として施文する。	確認
10-00796	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1		藍・赤・明赤褐・白粒・黒底・2mm 大小礫	口縁部の破片で、半截竹管によって平行沈線文とコンパス文を施文する。	
10-00797	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		藍・赤・橙・白粒	口縁部の破片で、半截竹管によって口縁部に平行沈線文を施文している。	
10-00798	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		藍・赤・灰青褐・白粒・黒底・2mm 大小礫	口縁部の破片で、半截竹管によって口縁部に刺突文を施文している。	
10-00799	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		藍・赤・褐・白粒・透藍	口縁部の破片で、半截竹管によって口縁部に刺突文を施文している。	

遺構外出土遺物(3)-1

遺物番号 図説番号	遺物種類 遺物名	出土層位 遺存層	数量 目 (個)	重量 目 (g)	構成・色調・胎土 (石質材は厚目録)	形状・技法等の特徴	調査
10-00800	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		藍・赤・橙・白粒・透藍	平縁の口縁部破片で、地文のみを施文する。	
10-00801	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		藍・赤・浅黄緑・白粒・黒底	平縁の口縁部破片で、地文のみを施文する。	
10-00802	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		藍・赤・赤褐・白粒・黒底・透藍	平縁の口縁部破片で、地文のみを施文する。	
10-00803	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		藍・赤・明赤褐・白粒・黒底・透藍	平縁の口縁部破片で、地文のみを施文する。	
10-00804	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		藍・赤・鈍黄緑・白粒・黒底	平縁の口縁部破片で、地文のみを施文する。	
10-00805	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		藍・赤・鈍黄緑・白粒・黒底・透藍	平縁の口縁部破片で、地文のみを施文する。	
10-00806	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7		藍・赤・橙・白粒・透藍	半截竹管によって平行沈線文とコンパス文を施文している。	
10-00807	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7		藍・赤・橙・白粒・黒底	半截竹管によって平行沈線文とコンパス文を施文している。	
10-00808	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		藍・赤・赤褐・白粒・黒底・透藍	半截竹管によって平行沈線文を施文している。	
10-00809	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		藍・赤・明赤褐・白粒・透藍	半截竹管による平行沈線間に、刺突を施している。	
10-00810	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		藍・赤・明赤褐・白粒・透藍	半截竹管による平行沈線間に刺突を施し、格子目状に施文する。	
10-00811	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		藍・赤・橙・白粒・黒底	半截竹管による平行沈線間に刺突を施し、格子目状に施文する。	
10-00812	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		藍・赤・明赤褐・白粒・黒底	半截竹管による平行沈線間に刺突を施し、格子目状に施文する。	
10-00813	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		藍・赤・黄緑・白粒・透藍	半截竹管による平行沈線間に刺突を施し、格子目状に施文する。	
10-00814	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		藍・赤・浅黄緑・白粒・黒底	半截竹管によって平行沈線文を施文する。	
10-00815	縄文土器 深鉢	破片	厚0.6		藍・赤・鈍黄緑・白粒・透藍	胴部の破片で、磨りのごくゆるい帯体によって、地文を施文している。	
10-00816	縄文土器 深鉢	破片	厚0.6		藍・赤・赤褐・白粒・黒底・透藍	胴部の破片で、9段多条の縄文を地文として施文している。	
10-00817	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1		藍・赤・鈍黄緑・白粒・黒底・透藍	胴部の破片で、9段多条の縄文を地文として施文している。	
10-00818	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		藍・赤・明赤褐・白粒・黒底・透藍	胴部の破片で、磨りのごくゆるい帯体によって、地文を施文している。	
10-00819	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1		藍・赤・鈍黄緑・白粒・黒底	胴部の破片で、磨りのごくゆるい帯体によって、地文を施文している。	
10-00820	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0		藍・赤・明赤褐・白粒・黒底・透藍	胴部の破片で、磨りのごくゆるい帯体によって、地文を施文している。	
10-00821	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		藍・赤・浅黄緑・白粒・黒底・透藍	胴部の破片で、磨りのごくゆるい帯体によって、地文を施文している。	
10-00822	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8		藍・赤・赤褐・白粒・黒底	胴部の破片で、磨りのごくゆるい帯体によって、地文を施文している。	
10-00823	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		藍・赤・褐・白粒・黒底	状況が不明で、口縁部には半截竹管によって文様が施文される。	
10-00824	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1		藍・赤・橙・白粒・2mm 大小礫	半截竹管によって平行沈線文を2層施文し、沈線内には刺突文を施文している。	
10-00825	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9		藍・赤・明赤・白粒・黒底	半截竹管によって文様を施文している。	

遺構外出土遺物(3)-2

遺物番号 図面番号	遺物種類 品名	出土層位 表層 存在 状況	量目 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石素材は貸目録)	形状・技法等の特徴	備考
10-00826	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.5	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒	半横竹管によって文様を施文している。	
10-00827	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.6	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒	半横竹管によって文様を施文している。	
10-00828	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.8	黒・赤・明赤褐色・白粒・黒粒・2mm大小小粒	半横竹管によって文様を施文している。	
10-00829	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	黒・赤・明赤褐色・白粒・黒粒	帯筒状の沈線で、区画文を施文している。	
10-00830	縄文土器 浮鉢	破片	厚2.0	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・砂粒	1口縁部に突起状に附付したもので、裏面把手の開始化されたものと考えられる。	
10-00831	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.8	黒・赤・明赤褐色・白粒・黒粒	小突起を有する口縁部の破片。取手を備。胴部には2条1単位となる浮線文を施文。浮線土に両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00832	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.5	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・1mm大小小粒	2条1単位の浮線文を両向きに施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00833	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透磁	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00834	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	黒・赤・明赤褐色・白粒・黒粒・2mm大小小粒	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00835	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.2	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透磁・1~2mm大小小粒	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00836	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	黒・赤・明赤褐色・白粒・黒粒・1mm大小小粒	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	

遺構外出土遺物(4)

遺物番号 図面番号	遺物種類 品名	出土層位 表層 存在 状況	量目 目 (cm) 目 (g)	構成・色調・胎土 (石素材は貸目録)	形状・技法等の特徴	備考
10-00837	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00838	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.3	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・2mm大小小粒	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00839	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透磁	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00840	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00841	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透磁	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00842	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透磁	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00843	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.2	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・2mm大小小粒	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00844	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・2~3mm大小小粒	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00845	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透磁	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00846	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.8	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透磁	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00847	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	黒・赤・明赤褐色・白粒・黒粒・透磁	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00848	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.6	黒・赤・明赤褐色・白粒・黒粒・透磁	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00849	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線土には両向きを交えた横線状の取手を施している。	
10-00850	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・2mm大小小粒	底面の破片である。浮線文を施文している。	
10-00851	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	黒・赤・黄褐色・白粒・赤粒・2mm大小小粒	口縁部には円孔を穿らしている。	
10-00852	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透磁	口縁部には円孔を穿らしている。	
10-00853	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透磁・2~3mm大小小粒	屈曲する口縁部の破片で、沈線によって両向き文などを施文する。裏面に突起状に附付した取手を施文する。	
10-00854	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透磁・2~3mm大小小粒	屈曲する口縁部の破片で、沈線によって両向き文などを施文する。	
10-00855	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透磁・1mm大小小粒	屈曲する口縁部の破片で、沈線によって両向き文などを施文する。	
10-00856	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・2~3mm大小小粒	屈曲する口縁部の破片で、底面によって突起状に附付した取手を施文する。また円孔もみられる。	
10-00857	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.2	黒・赤・明赤褐色・白粒・黒粒・透磁・2~3mm大小小粒	屈曲する口縁部の破片で、集合浮線文を施文する。地文は無文である。	
10-00858	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.6	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒	口縁部の底面に、円形に附付した取手を施文する。	
10-00859	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.2	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透磁・1~2mm大小小粒	表状口縁部の破片で、半横竹管による集合状線文で、両向き文などを施文している。	
10-00860	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・黒粒	口縁部を縁部の破片で、半横竹管による集合状線文で、両向き文などを施文している。	
10-00861	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	黒・赤・黄褐色・白粒・黒粒・2~3mm大小小粒	口縁部の破片で、半横竹管による集合状線文を施文する。	
10-00862	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	黒・赤・黄褐色・白粒・透磁・1~5mm大小小粒	表状口縁部の破片で、半横竹管による集合状線文で、文様を施文している。10-00863と同一個体。	
10-00863	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.8	黒・赤・明赤褐色・白粒・透磁・2~3mm大小小粒		

遺構外出土遺物(5)

遺物番号 図版番号	遺物種 類	出土層位 遺存層	数量 目 (g)	構成・色調・粘土 (石炭材は炭目)	形状・技法等の特徴	備考
19-00864	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	胎・灰・純黄砂・白粒・黒粒・透磁・ 2mm大小	屈曲する口縁部で、底状となる。平織竹管によって集合状線文を施文する。	
19-00865	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.2	胎・灰・純黄砂・白粒・黒粒・透磁・ 2mm大小	屈曲する口縁部で、底状となる。平織竹管によって集合状線文を施文する。	
19-00866	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	胎・灰・純黄砂・白粒・黒粒・赤粒・ 2mm大小	底状口縁部の破片で、平織竹管によって集合状線文を施文する。	
19-00867	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	胎・灰・純黄砂・白粒・黒粒・赤粒・ 2mm大小	屈曲する口縁部で、底状となる。平織竹管によって集合状線文を施文する。	
19-00868	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.2	胎・灰・純黄砂・白粒・黒粒・黒磁・ 2～3mm大小	底状口縁部の破片で、平織竹管によって集合状線文を施文する。	
19-00869	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	胎・灰・純黄砂・白粒・黒磁	底状口縁部の破片で、平織竹管によって集合状線文を施文する。	
19-00870	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.8	胎・灰・明赤陶・白粒・黒磁・2mm 大小	筒状となる大底状の口縁部の破片で、平織竹管によって集合状線文が施文される。	
19-00871	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.8	胎・灰・純黄砂・白粒・黒磁・透磁・ 2mm大小	筒状となる大底状の口縁部の破片で、平織竹管によって集合状線文が施文される。	
19-00872	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.7	胎・灰・赤・白粒・黒磁・2～4mm 大小	円筒状大底状の口縁部の破片で平織竹管によって集合状線文が施文される。	
19-00873	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	胎・灰・明赤陶・白粒・黒磁	胴部の破片で、胴上部には、集合状線文が施文され、胴下部は地文のみが施文される。	
19-00874	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.2	胎・灰・赤・白粒・黒磁・透磁・2～ 4mm大小	胴上部の破片で、平織竹管による集合状線文で、文様を施文している。	
19-00875	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	胎・灰・赤・白粒・黒磁・2mm大小	胴部の破片で、平織竹管による集合状線文を平行に施文する。	
19-00876	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	胎・灰・赤・白粒・白磁・黒磁	胴部の破片で、平織竹管による集合状線文を平行に施文する。	
19-00877	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	胎・灰・明赤陶・白粒・黒磁・透磁	胴部の破片で、平織竹管による集合状線文を平行に施文する。	
19-00878	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	胎・灰・灰黄陶・白粒・黒磁・2mm 大小	胴部の破片で、平織竹管による集合状線文を平行に施文する。	
19-00879	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	胎・灰・純黄砂・白粒・黒磁・2mm 大小	胴部の破片で、平織竹管による集合状線文を平行に施文する。	
19-00880	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	胎・灰・赤・白粒・黒磁	胴部の破片で、平織竹管による集合状線文を平行に施文する。	
19-00881	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.7	胎・灰・明赤陶・白粒・黒磁	胴部の破片で、平織竹管による集合状線文を平行に施文する。筒を欠落状の文様で施文している。	

遺構外出土遺物(6)

遺物番号 図版番号	遺物種 類	出土層位 遺存層	数量 目 (g)	構成・色調・粘土 (石炭材は炭目)	形状・技法等の特徴	備考
19-00882	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	胎・灰・純磁・白粒・2mm大小	胴部の破片で、平織竹管による集合状線文を平行に施文する。	
19-00883	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.2	胎・灰・赤・白粒・白磁・透磁・2～ 4mm大小	胴部の破片で、平織竹管による集合状線文を平行に施文する。	
19-00884	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	胎・灰・純磁・白粒・白磁・黒粒・ 2～4mm大小	胴部の破片で、平織竹管による集合状線文を平行に施文する。	
19-00885	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	胎・灰・赤・白粒・黒磁・2mm大小	胴部の破片で、平織竹管による集合状線文を縦方向、矢肩や平行に施文する。	
19-00886	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	胎・灰・赤・白粒・黒磁・2～3mm 大小	19-00885と同一個体	
19-00887	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	胎・灰・赤・白粒・黒磁・2～3mm 大小	19-00885と同一個体	
19-00888	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	胎・灰・灰黄陶・白粒・黒磁・赤粒・ 2～3mm大小	19-00885と同一個体	
19-00889	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	胎・灰・純磁・白粒・透磁	胴部の破片。平織竹管による集合状線文が平行に施文される。	
19-00890	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.5	胎・灰・赤・白粒・黒磁・2mm大小	胴部の破片。平織竹管による集合状線文が平行に施文される。	
19-00891	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	胎・灰・純黄砂・白粒・黒粒・透磁	胴部の破片。平織竹管による集合状線文が平行に施文される。	
19-00892	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	胎・灰・明赤陶・白粒・黒磁・透磁	地文のみが施文される口縁部の破片である。	
19-00893	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.7	胎・灰・赤陶・白粒・黒磁	地文のみが施文される胴部の破片である。	
19-00894	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	胎・灰・明赤陶・白粒・黒磁	地文のみが施文される胴部の破片である。	
19-00895	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	胎・灰・明赤陶・白粒・黒磁・透磁	地文のみが施文される胴部の破片である。	
19-00896	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	胎・灰・明赤陶・白粒・黒磁・透磁	地文のみが施文される胴部の破片である。	
19-00897	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.6	胎・灰・明赤陶・白粒・黒磁・透磁	地文のみが施文される胴部の破片である。	

遺構外出土遺物(7)-1

遺物番号 図版番号	遺物種 類	出土層位 遺存層	数量 目 (g)	構成・色調・粘土 (石炭材は炭目)	形状・技法等の特徴	備考
19-00898	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	胎・灰・赤・白粒・2mm大小	口縁部は屈曲するもので、円孔が施文されている。	
19-00899	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.4	胎・灰・純黄砂・白粒・黒磁・透磁・ 2mm大小	集合状線文を施文する筒状口縁部の破片で、円形孔付文が施文される。	

富田下大日遺跡 諸元

遺構外出土遺物(7)-2

遺物番号 図説番号	遺物種 類	出土層位 遺存 号	厚さ 目 (mm)	重量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石臼材は別目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-0000	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・2mm 大小器	口縁部の破片で、集合沈殿文が気味に施される。	
10-0001	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底	口縁部の破片で、集合沈殿文を斜めには縦方向に施文している。	
10-0002	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.7		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・2mm 大小器	口縁部の破片で、斜めには横文のみが施される。穂状の足付文が施文されている。	
10-0003	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.8		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・2mm 大小器	集合沈殿によって文様を施するもので、平行する沈殿文の周には矢羽状の文様を施文する。	
10-0004	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.2		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底	集合沈殿によって文様を施文するもので、平行する沈殿文の周を、縦方向の沈殿文によって包んでいる。	
10-0005	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.7		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・2mm 大小器	集合沈殿によって文様を施文するもので、斜めや、平行する沈殿文を施文している。	
10-0006	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・2mm 大小器	集合沈殿によって文様を施文するもので、斜めや、平行する沈殿文を施文している。	
10-0007	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.7		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・2～3 mm大小器	口縁部の破片で、口縁部には斜突を施している。	
10-0008	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底	口縁部の破片で、口縁部には斜突を施している。	
10-0009	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底	口縁部の破片で、口縁部には斜突を施している。	
10-0010	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底	口縁部の破片で、口縁部には斜突を施している。円形刺付文が施文されている。	
10-0011	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・透磁	胴部の破片で、集合沈殿によって文様を施文している。	
10-0012	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.8		黒・茶・黄褐色・白粒・透磁・2mm 大小器	胴部の破片で、集合沈殿によって文様を施文している。	
10-0013	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1		黒・茶・明赤色・白粒・透磁・2mm 大小器	胴部の破片で、集合沈殿によって文様を施文している。	
10-0014	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.8		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・透磁 の沈殿文を施文している	胴部の破片で、集合沈殿によって縦方向や横方向、矢羽状の沈殿文を施文している。	
10-0015	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・2mm 大小器	胴部の破片で、集合沈殿によって縦方向や横方向、矢羽状の沈殿文を施文している。	
10-0016	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底	胴部の破片で、集合沈殿によって縦方向や横方向、矢羽状の沈殿文を施文している。	
10-0017	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.8		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・透磁	胴部の破片で、集合沈殿によって縦方向や横方向、矢羽状の沈殿文を施文している。	
10-0018	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.6		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・2mm 大小器	胴部の破片で、集合沈殿によって縦方向や横方向、矢羽状の沈殿文を施文している。	
10-0019	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・透磁	胴部の破片で、集合沈殿によって縦方向や横方向、斜め方向の沈殿文を施文している。	
10-0020	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.8		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底	胴部の破片で、集合沈殿によって施文された縦方向の沈殿文には斜め方向の沈殿文を施文している。	
10-0021	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0		黒・茶・赤褐色・白粒・黒底・2～3 mm大小器	胴部の破片で、集合沈殿によって施文された縦方向の沈殿文には斜め方向の沈殿文を施文している。	
10-0022	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・透磁	胴部の破片で、集合沈殿によって施文された縦方向の沈殿文には斜め方向や矢羽状の沈殿文を施文している。	
10-0023	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底	胴部の破片で、集合沈殿によって施文された縦方向の沈殿文には斜め方向や矢羽状の沈殿文を施文している。	
10-0024	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.8		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・2mm 大小器	胴部の破片で、集合沈殿によって施文された縦方向の沈殿文には斜め方向や矢羽状の沈殿文を施文している。	
10-0025	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.8		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・2mm 大小器	胴部の破片で、集合沈殿によって縦方向や斜め方向に文様を施文している。	
10-0026	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9		黒・茶・黄褐色・白粒・透磁・2～3 mm大小器	胴部の破片で、集合沈殿によって縦方向や斜め方向に文様を施文している。	

遺構外出土遺物(8)-1

遺物番号 図説番号	遺物種 類	出土層位 遺存 号	厚さ 目 (mm)	重量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石臼材は別目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-0007	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.7		黒・茶・黄褐色・白粒・白粒・赤粒・ 2mm大小器	胴部の破片で、集合沈殿によって縦方向や斜め方向に文様を施文している。	
10-0009	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.8		黒・茶・黄褐色・白粒・1～2mm大小 器	胴部の破片で、集合沈殿によって縦方向や斜め方向に文様を施文している。	
10-0009	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.8		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・2～3 mm大小器	胴部の破片で、集合沈殿によって縦方向や斜め方向に文様を施文している。	
10-0030	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9		黒・茶・明赤色・白粒・2～5mm大小 器	胴部の破片で、集合沈殿によって縦方向や斜め方向に文様を施文している。	
10-0031	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・2mm 大小器	胴部の破片で、集合沈殿によって縦方向や斜め方向に文様を施文している。	
10-0032	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.3		黒・茶・明赤色・白粒・黒底・黒底・ 2mm大小器	胴部付近の破片である。	
10-0033	縄文土器 浮鉢	4/3枚	111.0		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・砂粒	屈曲する口縁部には円形と穂状刺付文を施し、細足の穂状刺付文を5単位配している。	
10-0034	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.8		黒・茶・黄褐色・白粒・2mm大小器	口縁部の破片で、矢羽状の沈殿文を施文し、上下には斜突文を施文する。2本1組の穂状の刺付文を施文する。	
10-0035	縄文土器 浮鉢	破片	厚2.0		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底	口縁部の破片で、斜め方向の沈殿文を施文し、口唇部には斜突文を施文する。穂状の刺付文を施文する。	
10-0036	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.7		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・透磁	口縁部の破片で、口縁部には矢羽状の沈殿文を施文し、穂状の刺付文や円形刺付文を施文する。	
10-0037	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.9		黒・茶・黄褐色・白粒・黒底・透磁	口縁部の破片で、口縁部には斜方向の沈殿文を施文し、穂状の刺付文を施文する。	

遺構外出土遺物(8) - 2

遺物番号 図録番号	遺物種 品名	出土層位 層番号	厚さ (mm)	長さ・色調・胎土 (形状は任意)	形状・技法等の特徴	調査
10-00928	縄文土器 深鉢	破片	厚2.2	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透氣・赤粒	口縁部の破片で、口縁部には2段の矢羽状の沈線文を施し、横紋の彫付文を施す。	
10-00929	縄文土器 深鉢	破片	厚2.3	胎・赤・橙・白粒・黒粒・赤粒	口縁部の破片で、口縁部には、かまぼこ状の彫付文を施し、横紋の彫付文を施す。	
10-00940	縄文土器 深鉢	破片	厚2.4	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・2mm大小	口縁部の破片で、口縁部には、かまぼこ状の彫付文を施し、横紋の彫付文を施す。	
10-00941	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒	口縁部から真横的に両面にわたる筋で、集合沈線文は縦方向にのみ施される。彫刻付文が施されている。	
10-00942	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・2mm大小	集合沈線を器面全体に施し、彫刻付文を施す。	
10-00943	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透氣・透磁	集合沈線を器面全体に施し、彫刻付文を施す。	
10-00944	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6	胎・赤・橙・白粒・透氣・2~5mm大小	集合沈線を器面全体に施し、彫刻付文を施す。	
10-00945	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・2mm大小	集合沈線を器面全体に施し、彫刻付文を施す。	
10-00946	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	胎・赤・橙・白粒・黒粒	集合沈線を器面全体に施し、彫刻付文を施す。	
10-00947	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒	集合沈線を器面全体に施し、棒状や彫刻付文を施す。	
10-00948	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・黒粒	集合沈線を器面全体に施し、棒状や彫刻付文を施す。	
10-00949	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	胎・赤・橙・白粒・黒粒	集合沈線を器面全体に施し、棒状付文を施す。胎付文上には黒目を入れる。	
10-00950	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透氣	集合沈線を器面全体に施し、棒状付文を施す。胎付文上には黒目を入れる。	
10-00951	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒	集合沈線を器面全体に施し、棒状付文を施す。胎付文上には黒目を入れる。	

遺構外出土遺物(9)

遺物番号 図録番号	遺物種 品名	出土層位 層番号	厚さ (mm)	長さ・色調・胎土 (形状は任意)	形状・技法等の特徴	調査
10-00952	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒	胎文のみを施す口縁部の破片である。	
10-00953	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・2mm大小	平行沈線文を縦方向や斜め方向に施す。	
10-00954	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	胎・赤・黒粒・白粒・黒粒	平行沈線文を縦方向や斜め方向に施す。口縁部には刺突文を施す。	
10-00955	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・1~2mm大小	口縁部の破片で、刺突や彫文を施す。	
10-00956	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒	口縁部の破片で、刺突や彫文を施す。	
10-00957	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透氣	口縁部の破片で、刺突や彫文を施す。	
10-00958	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透氣	口縁部の破片で、刺突や彫文を施す。	
10-00959	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	胎・赤・黄褐色・白粒・透氣	筒状口縁部の破片で、貝殻敷文を施す。口縁部には黒目を入れる。	
10-00960	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒	筒状口縁部の破片で、貝殻敷文を施す。	
10-00961	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透氣	胴部の破片で、貝殻敷文で、刺突などを施す。	
10-00962	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透氣	胴部の破片で、貝殻敷文を施す。	
10-00963	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	胎・赤・黄褐色・白粒・透氣	胎文として貝殻敷文を施し、沈線文を施している。	
10-00964	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	胎・赤・黄褐色・白粒・透氣	胎文として貝殻敷文を施し、沈線文を施している。	
10-00965	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	胎・赤・黄褐色・白粒・透氣・2mm大小	胎文として貝殻敷文を施し、沈線文を施している。	
10-00966	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	胎・赤・橙・白粒・透氣	胎文として貝殻敷文を施し、沈線文を施している。	
10-00967	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	胎・赤・黄褐色・白粒	沈線を平行して施しており、その内側に貝殻敷文を施している。	
10-00968	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒	胴部の破片で、貝殻敷文を施す。	
10-00969	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6	胎・赤・橙・白粒・黒粒・赤粒	口縁部の破片で、縁帯によって区画される。文帯の区画内には沈線文を施す。	
10-00970	縄文土器 深鉢	破片	厚1.7	胎・赤・橙・白粒・黒粒	胎文の口縁部を持ち、縁帯によって区画されるものである。	
10-00971	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	胎・赤・橙・白粒・黒粒	胴部から胴部の破片で、沈線によって胴部と区画する。胎文は彫り文である。	
10-00972	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透氣	胴部の破片で、縁帯を帯下させる。	
10-00973	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	胎・赤・橙・白粒・黒粒・透氣	横線などが入る口縁部の破片と考えられる。	
10-00974	縄文土器 深鉢	破片	厚1.9	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透氣・2mm大小	口縁部の破片で、縁帯によって区画される。胴部上の区画には、ごく浅い状態で沈線文を施す。	
10-00975	縄文土器 深鉢	破片	厚1.9	胎・赤・黄褐色・白粒・黒粒・透氣・3mm大小	口縁部の破片で、縁帯によって区画される。胴部上の区画には、ごく浅い状態で沈線文を施す。	

遺構外出土遺物00

遺物番号 図面番号	遺物種 類	出土層位 遺 存 存 在	厚 目 (mm)	焼成・色調・胎土 (石室材は要目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00976	縄文土器 深鉢	破片	厚2.1	焼・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・透磁・ 2～3mm大小	口縁部の破片で、縁帯によって文様を施している。	
10-00977	縄文土器 深鉢	破片	厚1.9	焼・赤・灰黄褐色・白粒・黒粒・透磁	口縁部の破片で、口縁部に縁帯によって文様を施している。胴部は2本1組の筒を磨り削り絞文様を垂下させる。	
10-00978	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	焼・赤・純黄褐色・白粒・黒粒	底状口縁部の破片で、胴部は浅いので絞文様で、筒状区画文などを施す。胴部には比喩を垂下させる。	
10-00979	縄文土器 深鉢	破片	厚2.1	焼・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・透磁	口縁部の破片で、円形刺状文が施されている。	
10-00980	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	焼・赤・純黄褐色・白粒・黒粒	口縁部の破片で口縁部は筒状区画を施す。胴部には縦字文や逆字字文を施す。	
10-00981	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	焼・赤・明黄褐色・白粒・黒粒・透磁	口縁部の破片で口縁部は筒状区画を施す。胴部にも筒状区画文などを施す。	
10-00982	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	焼・赤・灰黄褐色・白粒・黒粒	底状口縁部の破片で、口縁部に縁帯を溝巻き状に施文する区画文を施す。	
10-00983	縄文土器 深鉢	破片	厚1.5	焼・赤・純黄褐色・白粒・黒粒	底状口縁部の破片で、底辺下には筒状区画文を施す。底辺部内面にも筒状区画文を施す。	
10-00984	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6	焼・赤・橙・白粒・黒粒・透磁	底状口縁部の破片で、口縁部に縁帯を溝巻き状に施文する区画文を施す。地文は糸線である。	
10-00985	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	焼・赤・明黄褐色・白粒・黒粒・黒粒・赤粒	口縁部の破片で、縁帯を溝巻き状に施す。	

遺構外出土遺物01

遺物番号 図面番号	遺物種 類	出土層位 遺 存 存 在	厚 目 (mm)	焼成・色調・胎土 (石室材は要目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-00986	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	焼・赤・灰黄褐色・白粒・黒粒・透磁	胴部から胴部にかけての破片で、胴部には3本1組の筒を磨り削り絞文様を垂下させる。	
10-00987	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	焼・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・透磁	胴部から胴部にかけての破片で、地文は糸線である。	
10-00988	縄文土器 深鉢	破片	厚1.5	焼・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・2～3mm大小	胴部から胴部にかけての破片で、地文は糸線である。	
10-00989	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	焼・赤・明赤褐色・白粒・黒粒・透磁	胴部の破片で、逆字文と縦字文を交互に施文する。	
10-00990	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	焼・赤・橙・白粒・黒粒・透磁・2～3mm大小	胴部の破片で3本1組の筒を磨り削り絞文様を垂下させる。絞線は浅いので絞になる。	
10-00991	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	焼・赤・灰黄褐色・白粒・黒粒・透磁・2～3mm大小	胴部の破片で3本1組の筒を磨り削り絞文様を垂下させる。絞線は浅いので絞になる。	
10-00992	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	焼・赤・明黄褐色・白粒・黒粒・透磁・赤粒	胴部の破片で3本1組の筒を磨り削り絞文様を垂下させる。その筒に縦行する糸線文を施す。絞線は浅いので絞になる。	
10-00993	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	焼・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・透磁	胴部の破片で筒を磨り削り絞文様を垂下させる。絞線は浅いので絞になる。	
10-00994	縄文土器 深鉢	破片	厚1.8	焼・赤・橙・白粒・黒粒・透磁・1～2mm大小	胴部の破片で3本1組の筒を磨り削り絞文様を垂下させる。絞線は浅いので絞になる。地文は糸線を施す。	
10-00995	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	焼・赤・灰黄褐色・白粒・黒粒・1～3mm大小	胴部の破片で3本1組の筒を磨り削り絞文様を垂下させる。筒状部の糸線の2種類を施す。	
10-00996	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	焼・赤・橙・白粒・黒粒・透磁	胴部の破片で3本1組の筒を磨り削り絞文様を垂下させる。絞線は浅いので絞。地文は縄文土器類の糸線の2種類を施文。	
10-00997	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	焼・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・透磁・2～5mm大小	比喩によって溝文を施す。	
10-00998	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	焼・赤・灰黄褐色・白粒・黒粒	比喩によって溝文を施す。	
10-00999	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6	焼・赤・橙・白粒・黒粒・透磁・2～3mm大小	胴部から胴部の破片で、地文は縦行の絞線をハの字状に施文する。	
10-10000	縄文土器 深鉢	破片	厚1.7	焼・赤・橙・白粒・黒粒・透磁・2～3mm大小	胴部から胴部の破片で、地文は縦行の絞線をハの字状に施文する。	
10-10001	縄文土器 深鉢	破片	厚1.5	焼・赤・橙・白粒・黒粒・透磁	胴部の破片で、縁帯を垂下させて施文している。地文は縦行の絞線をハの字状に施す。	
10-10002	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	焼・赤・橙・白粒・黒粒・透磁	胴部の破片で、縁帯を垂下させて施文している。地文は縦行の絞線をハの字状に施す。	
10-10003	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	焼・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・透磁	地文に円形刺状文を施している。	

遺構外出土遺物01-1

遺物番号 図面番号	遺物種 類	出土層位 遺 存 存 在	厚 目 (mm)	焼成・色調・胎土 (石室材は要目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-10004	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	焼・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・透磁	地文に円形刺状文を施している。	
10-10005	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	焼・赤・橙・白粒・黒粒	底状の絞線を縦方向に施文している。	
10-10006	縄文土器 深鉢	破片	厚1.7	焼・赤・橙・白粒・黒粒・2～3mm大小	胴部の破片で、縁帯を垂下させて施文している。地文は縦行の絞線をハの字状に施す。	
10-10007	縄文土器 深鉢	破片	厚1.5	焼・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・透磁	底状口縁部の破片で、断面三角形状で、微隆起となる縁帯によって大形の溝巻き文などを施す。	
10-10008	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	焼・赤・純赤褐色・白粒・黒粒・透磁	底状口縁部の破片で、断面三角形状で、微隆起となる縁帯によって大形の溝巻き文などを施す。	
10-10009	縄文土器 深鉢	破片	厚1.5	焼・赤・黄褐色・白粒・黒粒・2～3mm大小	底状口縁部の破片で、断面三角形状で、微隆起となる縁帯によって大形の溝巻き文などを施す。	
10-10010	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6	焼・赤・純黄褐色・白粒・黒粒・透磁・2～3mm大小	口縁部の破片で、断面三角形状で、微隆起となる縁帯によって大形の溝巻き文などを施す。	

遺構外出土遺物02-2

遺物番号 図録番号	遺物種 類	出土層位 遺存層	厚 目 (mm)	構成・色調・胎土 (右新材は付目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-01011	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	黒・並・褐色・白粒・黒底	口縁部の破片で、微隆起状の縁帯によって文様を施文している。	
10-01012	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底・透灰	狭状口縁部の破片で、断面三角形状で、微隆起となる縁帯によって大型の渦巻き文などを施文する。	
10-01013	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底	狭状口縁部部の破片で、無文の口縁部となる。	
10-01014	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底・透灰	口縁部の破片で、微隆起の縁帯によって割部と区画する。	
10-01015	縄文土器 深鉢	破片	厚2.1	黒・並・橙・白粒・黒底	口縁部の破片で、微隆起状の縁帯によって文様を施文している。	
10-01016	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	黒・並・橙・白粒・黒底・透灰	口縁部の破片で、微隆起状の縁帯によって文様を施文している。	
10-01017	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	黒・並・浅黄褐色・白粒・黒底・透灰	口縁部の破片で、微隆起状の縁帯によって文様を施文している。	
10-01018	縄文土器 深鉢	破片	厚1.7	黒・並・浅黄褐色・白粒・黒底	胴部の破片で、微隆起状の縁帯で大型の渦巻き文を施文する。	
10-01019	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底	胴部の破片で、微隆起状の縁帯で大型の渦巻き文を施文する。	

遺構外出土遺物03

遺物番号 図録番号	遺物種 類	出土層位 遺存層	厚 目 (mm)	構成・色調・胎土 (右新材は付目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-01020	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	黒・並・鈍黄褐色・白粒・透灰・2mm 大小小粒	胴部の破片で、微隆起状の縁帯で大型の渦巻き文などを施文する。	
10-01021	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	黒・並・浅黄褐色・白粒・黒底・透灰	胴部の約り斜状となる縁帯を施文している。	
10-01022	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	黒・並・浅黄褐色・白粒・黒底・透灰	胴部の約り斜状となる縁帯を施文している。	
10-01023	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底・2mm 大小小粒	胴部の破片で、微隆起状の縁帯で大型の渦巻き文などを施文する。	
10-01024	縄文土器 深鉢	破片	厚1.7	黒・並・橙・白粒・黒底・透灰	胴を磨り削り2本1組の微隆起を胴部に垂下させる。	
10-01025	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底・透灰	口縁部の破片で、胴上部に波状紋文を施文し、波の間に垂下字を施文する。	
10-01026	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底・赤粒	口縁部の破片で、胴上部に波状紋文を施文し、波の間に垂下字を施文する。	
10-01027	縄文土器 深鉢	破片	厚1.9	黒・並・橙・白粒・黒底・透灰	唇部する狭状口縁部の破片である。縁帯で胴部と区画し、縁部の上には垂下する列点文を施文する。	
10-01028	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底	狭状口縁部の破片で、口縁部には列点文を連続して施文する。	
10-01029	縄文土器 深鉢	破片	厚1.5	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底	口縁部の破片で、口縁部には波状で区画し、内側には列点文を施文する。胴上部に波状紋文を施文する。	
10-01030	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	黒・並・明褐色・白粒・黒底・透灰・赤粒	口縁部の破片で、口縁部には列点文を施文する。	
10-01031	縄文土器 深鉢	破片	厚1.7	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底・透灰	狭状口縁部の破片で、口縁部には波状で区画する。胴上部に波状紋文を施文する。	
10-01032	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	黒・並・明褐色・白粒・黒底・2～3 mm大小小粒	狭状口縁部の破片で、口縁部には波状で区画する。胴上部に波状紋文を施文する。	
10-01033	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底	口縁部の破片で、口縁部には波状で区画する。胴上部に波状紋文を施文する。	
10-01034	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底	狭状口縁部の破片で、口縁部には波状で区画する。胴上部には渦巻き文を施文する。	
10-01035	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	黒・並・褐色・白粒・黒底	狭状口縁部の破片で、胴上部には波状紋文を施文する。	
10-01036	縄文土器 深鉢	破片	口(14.0)	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底・砂粒	胴部上部に大型の渦巻き文を波状で施文している。	

遺構外出土遺物04-1

遺物番号 図録番号	遺物種 類	出土層位 遺存層	厚 目 (mm)	構成・色調・胎土 (右新材は付目録)	形状・技法等の特徴	備 考
10-01037	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	黒・並・橙・白粒・黒底・2mm大小 小粒	口縁部の破片で、胴部との区画に波状文を施文している。胴部には無文のみを施文している。	
10-01038	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	黒・並・明褐色・白粒・透灰	口縁部の破片で、胴部との区画に間を磨り削り2本1組の波状文を施文している。	
10-01039	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底・赤粒	胴上部に間を磨り削り2本1組の波状文で、渦巻き文を施文する。	
10-01040	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底	胴上部に間を磨り削り2本1組の波状文で、狭状文を施文する。	
10-01041	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底	小型のもので、羽状紋文を施文する。	
10-01042	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底・透灰	口縁部の破片で、胴部との区画に波状文を施文している。	
10-01043	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底・3mm大小 小粒	口縁部の破片で、胴部との区画に波状文を施文している。地文は条線を施文している。	
10-01044	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	黒・並・明褐色・白粒・黒底・透灰	胴上部に間を磨り削り2本1組の波状文で、渦巻き文を施文する。	
10-01045	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	黒・並・黄褐色・白粒・黒底	胴部に逆り字文を垂下させるもので、地文は条線である。	
10-01046	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	黒・並・鈍黄褐色・白粒・黒底・透灰	胴部に逆り字文を垂下させるもので、地文は条線である。	

遺構外出土遺物04-2

遺物番号 図版番号	遺物種 類	出土層位 遺存度	度量 目 (cm) (g)	構成・色調・胎土 (石灰質は要注記)	形状・技法等の特徴	備 考
10-01047	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.2	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒・透灰・2～3mm大小礫	胴部に遺し文字を遺すできず、その間に縦乎文を施すものである。地文は縁文である。	
10-01048	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒・透灰・1～3mm大小礫	ごく浅いので口の縁部を破片に施す。	
10-01049	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.8	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒・透灰	胴部のくびれ部分の破片で、波状によって文様を胴上部と下部とに分けて施文している。	
10-01050	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒・透灰	胴部のくびれ部分の破片で、波状によって文様を胴上部と下部とに分けて施文している。	
10-01051	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.3	黒・紫・明褐色・白粒・黒粒	胴部下半の破片で、3本1組の罫を繰り返す波状を帯下させる。	
10-01052	縄文土器 浮鉢	破片	底(8.6)	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒	胴下半部から底部の破片で、地文は条線と甲斐1区の縄文を施文している。	
10-01053	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.0	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒	胴下半部から底部の破片で、波状を胴部に帯下させる。	
10-01054	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	黒・紫・橙・白粒・黒粒	胴下半部から底部の破片で、波状を胴部に帯下させる。	
10-01055	縄文土器 浮鉢	破片	底(9.2)	黒・紫・橙・白粒・黒粒	地文のみ施文される。地文は甲斐1区の縄文を施文する。	
10-01056	縄文土器 浮鉢	破片	厚2.7	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒	波状口縁部の破片で、波頂部分が突起状になっており、突起の先端は丸い痕跡をつける。	
10-01057	縄文土器 浮鉢	破片	厚2.2	黒・紫・灰黄褐色・白粒・黒粒	波状口縁部の破片で、波頂部分が突起状になっており、胴部には遺し字状となる帯状文を施文する。	
10-01058	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.6	黒・紫・浅黄褐色・白粒・黒粒	突起部分の表上に、波帯を施文している。	
10-01059	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.2	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒	波状口縁部の破片である。	
10-01060	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒	波状口縁部の破片で、波頂部分が頸状の形跡をつける。	
10-01061	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	黒・紫・黄褐色	波状口縁部の破片で、波頂部分が頸状の形跡をつける。	

遺構外出土遺物05

遺物番号 図版番号	遺物種 類	出土層位 遺存度	度量 目 (cm) (g)	構成・色調・胎土 (石灰質は要注記)	形状・技法等の特徴	備 考
10-01062	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.2	黒・紫・黄褐色	口縁部の破片で、頸状の形跡を施文している。	
10-01063	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	黒・紫・明褐色・白粒・黒粒	口縁部の破片で、細い1本波線と文様を施文している。	
10-01064	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	黒・紫・明褐色・白粒・黒粒	口縁部の破片で、細い1本波線と文様を施文している。	
10-01065	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.2	黒・紫・浅黄褐色・白粒・黒粒	口縁部の破片で、胴部に凹形を帯行する波状文を施文する。	
10-01066	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.2	黒・紫・浅黄褐色・白粒・黒粒	微隆起状帯を縦方向に帯下させる。	
10-01067	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.2	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒・透灰・透灰	底部の破片である。	
10-01068	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	黒・紫・明褐色・白粒・黒粒・透灰	胴部の破片で、地文のみが施文される。	
10-01069	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒	胴部の破片で、地文のみが施文される。	
10-01070	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	黒・紫・明褐色・白粒・透灰	口縁部の破片で、縦溝状の波線と地文として施文する。	
10-01071	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	黒・紫・橙・白粒・黒粒・2mm大小礫	地文は条線である。	
10-01072	縄文土器 浮鉢	破片	厚0.9	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒・黒粒	地文は条線である。	
10-01073	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.5	黒・紫・浅黄褐色・白粒・黒粒	地文条線のみを施文する。	
10-01074	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.0	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒・透灰	地文条線のみを施文する。	
10-01075	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒	無文の口縁部を作り出す。地文は条線状の条線を施文する。	
10-01076	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.1		10-01075と同一個体。	

遺構外出土遺物06-1

遺物番号 図版番号	遺物種 類	出土層位 遺存度	度量 目 (cm) (g)	構成・色調・胎土 (石灰質は要注記)	形状・技法等の特徴	備 考
10-01077	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.5	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒・透灰	口縁部と胴部を波線と区別する。地文はなく、無文である。	
10-01078	縄文土器 浮鉢	破片	厚2.1	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒	内湾する口縁部は無文で、胴部に條帯によって文様を施文する。	
10-01079	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.3	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒	胴部の破片で、地文は条線である。	
10-01080	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.4	黒・紫・明褐色・白粒・黒粒	胴部の破片で、地文は条線である。	
10-01081	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.6	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒	屈曲する胴部の破片で、微隆起状の帯帯で文様を施文する。	
10-01082	縄文土器 浮鉢	破片	厚1.4	黒・紫・黄褐色・白粒・黒粒・赤粒・1～2mm大小礫	屈曲する胴部には甲斐1区の縄文を施文し、胴部の地文は条線である。	

遺構外出土遺物⑨-2

遺物番号 図録番号	遺物種類	出土層位 遺存層	長さ 幅 厚 (mm)	構成・色調・胎土 (石素材は数値付)	形状・技法の特徴	調査
10-01083	縄文土器 浅鉢	破片	厚0.9	黄・赤・純黄褐色・白粒・黒底	胴部の破片で、地文は泥水状の条線である。	
10-01084	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.0	黄・赤・純黄褐色・白粒・黒底	胴部の破片で、地文は単線の縄文を施文する。	
10-01085	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.4	黄・赤・黄・白粒・黒粒・黒底	楕円の把手部分。地文は単線 R.L の縄文を施文する。	
10-01086	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.0	黄・赤・浅黄褐色・白粒・黒底	楕円の把手部分。地文は単線 R.L の縄文を施文する。	
10-01087	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.4	黄・赤・浅黄褐色・白粒・黒底・赤粒	縁帯によって調査器状に施文される。	
10-01088	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.4	黄・赤・純黄褐色・白粒・白粒・黒粒・ 2mm大小	縁帯によって調査器状に施文される。	
10-01089	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.4	黄・赤・明黄褐色・白粒・黒底・2mm 大小	楕円把手を付する。	
10-01090	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.8	黄・赤・黄褐色・白粒・黒底	胴部の破片である。	
10-01091	縄文土器 浅鉢	破片	厚0.7	黄・赤・純黄褐色・白粒・黒底	帯び状に施文された沈線文間に地文を充塞する。	
10-01092	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.6	黄・赤・純黄褐色・白粒・透底	口縁部の突起部分である。	
10-01093	縄文土器 浅鉢	破片	厚0.7	黄・赤・灰黄褐色・白粒・透底・赤粒	4等線によって区画された内部に、対向する楕円の沈線文を 透底して施文する。	
10-01094	縄文土器 深鉢	3/3残	口18.60	黄・赤・純黄褐色・白粒・黒底	4等線の区画を持つもので、胴上部には上を縁帯、下を沈 線で区画した帯状の文様帯を施文している。	
10-01095	縄文土器 ミニチュア 土器	欠形	口1.9	黄・赤・純黄褐色・白粒・透底	てびくおされたもので、煎などによるなで認められる。	
20-0153	石製品 土	黄土 層	長1.85 幅1.35 厚0.8 重4.9	滑石	中央部に穿孔するもので、表面は丁寧に磨かれるが、裏面 は形状を調整するための行った磨打痕が認められる。	

遺構外出土遺物⑩-1

遺物番号 図録番号	遺物種類	出土層位 遺存層	長さ 幅 厚 (mm)	構成・色調・胎土 (石素材は数値付)	形状・技法の特徴	調査
20-00154	石鏡	20-B-15 欠形	長1.15 幅1.2 厚0.2 重0.3	黒曜石	無葉平根三角形	
20-00155	石鏡	18-P-3 欠形	長1.1 幅1.7 厚0.4 重1.1	チャート	無葉長平根三角形	
20-00156	石鏡	20-O-17 4/3残	長2.60 幅2.0 厚0.4 重2.9	チャート	無葉長平根三角形	
20-00157	石鏡	調査区内 4/3残	長3.0 幅2.1 厚0.5 重2.8	黒曜石	無葉長平根三角形	
20-00158	石鏡	20-N-20 欠形	長2.05 幅1.5 厚0.45 重1.4	黒色安山岩	無葉長平根三角形	
20-00159	石鏡	46-R-5 4/3残	長2.05 幅1.3 厚0.3 重0.6	チャート	無葉長平根三角形	
20-00160	石鏡	20-B-16 一部欠損	長2.05 幅1.35 厚0.35 重0.9	チャート	無葉長平根三角形	
20-00161	石鏡	20-C-19 一部欠損	長2.1 幅1.1 厚0.3 重0.7	チャート	無葉長平根三角形	
20-00162	石鏡	調査区内 一部欠損	長2.85 幅1.6 厚0.55 重2.3	チャート	無葉長平根三角形	
20-00163	石鏡	49-C-19 一部欠損	長2.1 幅1.9 厚0.4 重1.9	黒色安山岩	無葉長平根三角形	
20-00164	石鏡	20-N-20 欠形	長1.3 幅2.15 厚0.3 重1.3	黒色安山岩	無葉長平根三角形	
20-00165	石鏡	20-D-19 ほぼ欠形	長1.15 幅1.95	黒色安山岩	無葉長平根三角形	
20-00166	石鏡	20-R-14 4/3残	長3.0 幅1.65 厚0.3 重1.4	チャート	無葉長平根三角形	
20-00167	石鏡	20-S-19 欠形	長3.1 幅1.9 厚0.35 重2.3	黒色安山岩	無葉長平根三角形	
20-00168	石鏡	No121P 欠形	長2.9 幅2.3 厚0.4 重1.9	黒色安山岩	無葉長平根三角形	
20-00169	石鏡	49-E-17 90%残	長3.4 幅1.8 厚0.4 重1.8	黒色安山岩	無葉長平根三角形	
20-00170	石鏡	20-F-12 欠形	長2.9 幅2.1 厚0.35 重1.6	チャート	無葉長平根三角形	
20-00171	石鏡	20-D-18 4/3残	長2.55 幅2.3 厚0.35 重1.6	黒色安山岩	無葉長平根三角形	
20-00172	石鏡	49-A-2 一部欠損	長2.3 幅2.0 厚0.4 重1.5	黒色安山岩	無葉長平根三角形	
20-00173	石鏡	20-S-19 4/3残	長3.2 幅2.1 厚0.4 重1.4	黒色安山岩	無葉長平根三角形	
20-00174	石鏡	20-O-15 欠形	長3.3 幅2.7 厚0.65 重4.8	黒色安山岩	形状が三角形となるもので、明確なつまみ部は作り出さ れていない。	
20-00175	石鏡	49-S-10 ほぼ欠形	長3.7 幅2.8 厚0.75 重8.6	黒色安山岩	明確なつまみ部とどめて形を作り出している。基部は丸み を帯びる。	
20-00176	石鏡	48-O-2 ほぼ欠形	長3.2 幅2.1 厚0.55 重3.1	黒色安山岩	先端部とつまみ部の一部を欠損するもので、另外は細長く 作り出されている。	
20-00177	石鏡	49-A-1 一部欠損	長3.6 幅2.45 厚0.8 重9.1	珪質頁岩	基部となる部分につまみ部の調整を行い、形状を作り出して いる。	

遺構外出土遺物07-2

遺物番号 図録番号	遺物類 種別	出土層位 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は度目録)	形状・技法等の特徴	調査
20-00178	石室 石瓦	38-O-15 一部欠損	長4.95 幅4.1 厚1.25 重20.7	黒色安山岩	瓦部と左側縁部を欠損する。瓦部は最大幅を縮つ。	
20-00179	石室 石瓦	表土 完形	長4.95 幅2.9 厚1.1 重18.4	黒色頁岩	基部を欠損する。割縁調整は最小限にとどめ、形状を作り出している。瓦部は丸みを帯びる。	
20-00180	石室 石瓦	49-E-15 完形	長7.0 幅2.1 厚1.9 重10.7	珪質頁岩	縦長のもので、丁寧に割縁調整を行い、形状を作り出している。つまみ部も丁寧に作り出す。	
20-00181	石室 石瓦	表土 一部欠損	長4.1 幅2.4 厚1.35 重9.2	黒色頁岩	三角形に近いもので、割片に最小限の割縁調整を行って作り出している。	

遺構外出土遺物08

遺物番号 図録番号	遺物類 種別	出土層位 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は度目録)	形状・技法等の特徴	調査
20-00182	石室 石瓦	39-A-14 2/3残	長6.15 幅6.7 厚1.3 重29.9	黒色頁岩	つまみ部分を半分欠損するもので、瓦部は丸みを帯びる。	
20-00183	石室 腰板	47-V層 完形	長7.4 幅5.60 厚1.10 重50.1	黒色頁岩	割片の鋭い縁道を瓦部として使用し、最小限の調整を行って形状を作り出している。裏面は原表面をとどめる。	
20-00184	石室 腰板	38-P-15 完形	長6.60 幅4.30 厚1.00 重27.8	黒色頁岩	割片の鋭い縁道を瓦部として使用し、最小限の調整を行って形状を作り出している。裏面は原表面をとどめる。	
20-00185	石室 腰板	39-A-14 完形	長6.8 幅4.4 厚1.45 重35.2	黒色頁岩	割片の鋭い縁道を瓦部として使用し、最小限の調整を行って形状を作り出している。裏面は原表面をとどめる。	
20-00186	石室 腰板	49-C-1 完形	長6.05 幅4.70 厚1.00 重36.9	黒色頁岩	割片の鋭い縁道を瓦部として使用し、最小限の調整を行って形状を作り出している。裏面の一部に原表面を残して使用している。	
20-00187	石室 腰板	49-D-18 完形	長6.35 幅4.80 厚1.10 重31.3	黒色頁岩	裏面に原表面を残すもので、割片の鋭い縁道を瓦部として使用している。	
20-00188	石室 腰板	38-R-16 完形	長6.35 幅3.35 厚1.05 重26.4	黒色頁岩	裏面に原表面を残すもので、割片の鋭い縁道を瓦部として使用している。	
20-00189	石室 腰板	39-E-17 完形	長4.70 幅10.70 厚2.10 重149.8	黒色頁岩	いゆる楕円形石版で、表面にのみ割縁調整を加える。裏面は原表面をそのまま残す。	
20-00190	石室 腰板	48-T-1 完形	長5.2 幅3.15 厚1.0 重31.6	黒色頁岩	裏面に原表面を残すもので、割片の鋭い縁道を瓦部として使用している。	
20-00191	石室 腰板	48-O-1 完形	長4.65 幅6.35 厚0.95 重26.9	黒色頁岩	表面の上部に原表面を残すもので、割片の鋭い縁道を瓦部として使用している。	
20-00192	石室 腰板	48-S-10 完形	長6.25 幅11.30 厚2.45 重148.1	黒色頁岩	表面の上部に原表面を残すもので、割片の鋭い縁道を瓦部として使用している。	
20-00193	石室 腰板	48-O-1 完形	長6.3 幅4.9 厚2.4 重198.5	黒色頁岩	割縁調整を行い、形状を整えているもので、裏面にはほとんど調整を加えず、原表面を残す。	
20-00194	石室 腰板	表土 完形	長7.15 幅10.8 厚2.41 重186.7	黒色頁岩	割片の上部を割縁調整によって形状を整える。表面に大きく原表面を残す。	
20-00195	石室 腰板	49-E-8 完形	長6.2 幅7.55 厚1.4 重41.9	細粒輝石安山岩	割片の上部を割縁調整によって形状を整える。表面に大きく原表面を残す。	
20-00196	石室 腰板	49-C-1 完形	長5.40 幅7.50 厚1.40 重53.3	黒色頁岩	割縁調整によって形状を三角形に整えるもので、裏面に同様の調整を加えている。	

遺構外出土遺物09

遺物番号 図録番号	遺物類 種別	出土層位 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は度目録)	形状・技法等の特徴	調査
20-00197	石室 腰板	48-S-7 完形	長4.30 幅6.30 厚0.90 重27.0	黒色頁岩	割片の上部を割縁調整によって形状を整える。裏面にほとんど調整を加えている。	
20-00198	石室 腰板	39-B-13 完形	長4.65 幅8.25 厚1.20 重53.5	灰色安山岩	裏面に施した割縁調整によって形状を整える。表面の一部に原表面が残る。	
20-00199	石室 腰板	49-G-16 完形	長4.80 幅10.05 厚1.35 重59.2	黒色頁岩	裏面の上部に原表面を残すもので、割縁調整によって形状を整えている。	
20-00200	石室 腰板	49-A-2 完形	長4.9 幅4.5 厚1.1 重11.5	細粒輝石安山岩	両面ともに割縁調整を実施して、形状を整えてるもので、瓦部は直線的に作り出している。	
20-00201	石室 腰板	表土 完形	長6.5 幅3.7 厚1.2 重10.8		割片。割縁面の内側から刃部加工を施す。	
20-00202	石室 腰板	48-R-5 完形	長9.8 幅5.3 厚1.2 重27.2		割片。割縁面の両側から刃部加工を施し、上部にも割縁加工が認められる。	
20-00203	石室 磨製石斧	28-S-19 4/5残	長12.3 幅5.3 厚3.3 重383.6	東京武岩	両側に面取りをすいゆる定角式の磨製石斧で、磨製は新磨が著しい。刃部は被割縁調整が加えられており、再加工もしくは磨削として再利用されたと考えられる。	
20-00204	石室 打製石斧	49-Q-1 完形	長11.65 幅5.0 厚2.55 重163.2	黒色頁岩	縁に割縁を加え、形状を作り出したもので、裏面に大きく原表面を残す。	
20-00205	石室 打製石斧	49-J-19 4/5残	長10.75 幅5.4 厚2.6 重175.5	黒色頁岩	縁に割縁を加え、形状を作り出したもので、裏面に大きく原表面を残す。	
20-00206	石室 打製石斧	59-G-1 4/5残	長9.80 幅5.10 厚2.55 重148.6	黒色頁岩	縁に割縁を加え、形状を作り出したもので、表面に大きく原表面を残す。裏面などは加工されていない。	
20-00207	石室 打製石斧	59-J-4 完形	長9.7 幅5.7 厚2.5 重144.6	黒色頁岩	縁に割縁を加え、形状を作り出したもので、表面に大きく原表面を残す。	
20-00208	石室 打製石斧	49-K-16 完形	長8.90 幅6.35 厚1.90 重120.1	黒色頁岩	縁に割縁を加え、形状を作り出したもので、裏面に原表面を残す。	

遺構外出土遺物09-1

遺物番号 図録番号	遺物類 種別	出土層位 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼成・色調・胎土 (石室材は度目録)	形状・技法等の特徴	調査
20-00209	石室 打製石斧	59-I-1 完形	長9.40 幅6.60 厚2.10 重146.5	黒色頁岩	縁に割縁を加え、形状を作り出したもので、裏面に原表面を残す。	
20-00210	石室 打製石斧	59-J-1 完形	長16.50 幅7.69 厚2.45 重184.6	黒色頁岩	縁に割縁を加え、形状を作り出したもので、裏面に原表面を残す。	

遺構外出土遺物①-2

遺物番号 図版番号	遺物種 名	出土層位 番号	量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (右素材は埋目録)	形状・技法等の特徴	備 考
29-00211	石葺 打製石片	49-E-17 一部欠損	長15.5 幅7.9 厚3.5 重432.7	黒色頁岩	縁に鋭縁を加え、形状を作り出したもので、表面に原磨面を残す。	
29-00212	石葺 打製石片	49-H-17	長11.65 幅6.45 厚3.4 重235.6	黒色頁岩	縁に鋭縁を加え、形状を作り出したもので、表面に原磨面を残す。	
29-00213	石葺 打製石片	48-T-2 一部欠損	長10.80 幅4.29 厚1.55 重30.9	黒色輝石火山岩	側縁が平行するいわゆる短形で、基部を裏面する。刃部は側縁が認められる。	
29-00214	石葺 打製石片	38-C-19 ほぼ完全	長10.10 幅4.25 厚2.30 重107.9	黒色頁岩	側縁が平行するいわゆる短形で、基部を裏面する。表面に原磨面を残す。	
29-00215	石葺 打製石片	38-P-20	長10.20 幅4.65 厚1.70 重94.7	黒色頁岩	側縁が平行するいわゆる短形で、表面基部に原磨面を残す。刃部は側縁が認められる。	
29-00216	石葺 打製石片	表土 完全	長14.8 幅4.75 厚1.9 重184.1	灰色火山岩	側縁が平行する短形だが基部より両側縁部に切りが入る。刃部のみ基部に側縁を確認。表面に大きく原磨面を残す。	
29-00217	石葺 打製石片	39-D-20 一部欠損	長13.80 幅4.80 厚1.70 重125.6	灰色火山岩	刃部にわずかに最大幅を持つもので、側縁は直線的に傾く。刃部は側縁が認められる。	
29-00218	石葺 打製石片	48-Q-4 完全	長14.65 幅4.9 厚1.85 重135.2	黒色頁岩	刃部は側縁が認められる。	

遺構外出土遺物②

遺物番号 図版番号	遺物種 名	出土層位 番号	量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (右素材は埋目録)	形状・技法等の特徴	備 考
29-00219	石葺 打製石片	38-P-20 完全	長10.9 幅4.75 厚1.8 重84.3	黒色頁岩	刃部にわずかに最大幅を持つもので、両面ともに原磨面を残さない。刃部は刃対刃で側部に側縁が認められる。	
29-00220	石葺 打製石片	38-O-20 完全	長10.85 幅4.50 厚1.65 重90.9	黒色頁岩	刃部にわずかに最大幅を持つもので、両面ともに原磨面を残さない。刃部は刃対刃で側部に側縁が認められる。	
29-00221	石葺 打製石片	表土 完全	長1.50 幅4.0 厚1.5 重59.0	砂岩	刃部にわずかに最大幅を持つもので、表面に原磨面を残す。刃部は丸刃である。	
29-00222	石葺 打製石片	表土 完全	長14.2 幅5.6 厚1.6 重142.4	黒色頁岩	側縁ごく狭く狭り入るもので、表面には原磨面が残る。刃部に側縁が認められる。	
29-00223	石葺 打製石片	38-T-19 ほぼ完全	長11.5 幅4.7 厚1.7 重96.7	黒色頁岩	側縁ごく狭く狭り入るもので、表面には原磨面が残る。刃部に側縁が認められる。	
29-00224	石葺 打製石片	38-R-18 完全	長11.35 幅4.4 厚1.4 重84.6	黒色輝石火山岩	側縁ごく狭く狭り入るもので、表面には大きく原磨面が残る。	
29-00225	石葺 打製石片	33柱上土 完全	長14.0 幅5.30 厚2.15 重162.6	黒色頁岩	表面に大きく原磨面を残す。左側縁は外反し、右側縁は内湾する。刃部には側縁が認められる。	
29-00226	石葺 打製石片	48-Q-3 完全	長10.60 幅4.25 厚1.70 重74.2	黒色頁岩	表面に原磨面を残す。左側縁は外反し、右側縁は内湾する。	
29-00227	石葺 打製石片	39-D-19 完全	長11.65 幅4.7 厚1.65 重73.4	黒色頁岩	表面に原磨面を残す。左側縁は外反し、右側縁は内湾する。	
29-00228	石葺 打製石片	表土 完全	長10.6 幅4.75 厚1.35 重77.4	灰色火山岩	刃部に最大幅を持つ側縁部が直線的に傾くもので、表面に大きく原磨面を残す。刃部には側縁が認められる。	
29-00229	石葺 打製石片	49-B-8 ほぼ完全	長6.60 幅4.50 厚1.20 重55.3	灰色火山岩	刃部に最大幅を持つ側縁部が直線的に傾くもので、表面に大きく原磨面を残す。刃部には側縁が認められる。	
29-00230	石葺 打製石片	49-B-1 4/3残	長11.55 幅5.15 厚1.6 重95.9	灰色火山岩	刃部に最大幅を持つもので、表面にも原磨面を残さない。刃部には側縁が認められる。	

遺構外出土遺物③

遺物番号 図版番号	遺物種 名	出土層位 番号	量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (右素材は埋目録)	形状・技法等の特徴	備 考
29-00231	石葺 打製石片	49-C-1 完全	長9.8 幅4.9 厚1.7 重83.8	黒色頁岩	刃部に最大幅を持つもので、両側縁はやや外反する。表面に原磨面を残す。	
29-00232	石葺 打製石片	48-Q-4 完全	長9.50 幅4.25 厚1.35 重71.3	黒色頁岩	刃部に最大幅を持つもので、両側縁はやや外反する。表面に原磨面を大きく残す。	
29-00233	石葺 打製石片	39-B-20 ほぼ完全	長6.15 幅3.90 厚1.20 重44.6	黒色頁岩	刃部に最大幅を持つもので、両側縁はやや外反する。表面の基部の一部、原磨面を残す。	
29-00234	石葺 打製石片	49-E-17 完全	長14.25 幅6.80 厚2.5 重228.8	黒色頁岩	両面ともに原磨面を残さない。刃部は丸刃である。	
29-00235	石葺 打製石片	49-C-10 完全	長12.4 幅5.9 厚1.9 重136.9	黒色頁岩	両側縁はわずかに狭り入る。丸刃で、表面に原磨面を残す。刃部には側縁が認められる。	
29-00236	石葺 打製石片	33柱上土 完全	長11.3 幅4.85 厚1.85 重90.9	黒色頁岩	刃部に最大幅を持つもので、表面に原磨面を残す。刃部は丸刃で、側縁が残る。	
29-00237	石葺 打製石片	39-C-18 一部欠損	長11.15 幅4.49 厚1.35 重76.9	黒色頁岩	刃部に最大幅を持つもので、両側縁におよびに狭り入る。刃部には側縁が認められる。	
29-00238	石葺 打製石片	48-S-2 ほぼ完全	長11.55 幅4.60 厚0.95 重56.4	黒色頁岩	表面に大きく原磨面を残すもので、基部より両側縁部に狭く狭り入る。	
29-00239	石葺 打製石片	38-R-19 4/3残	長10.20 幅4.65 厚1.15 重58.4	黒色頁岩	刃部に最大幅を持つもので、側縁に狭い切りが入る。刃部は丸刃で、側縁が残る。	
29-00240	石葺 打製石片	38-S-19 完全	長10.5 幅5.15 厚1.4 重85.4	黒色頁岩	両側縁に狭い切りが入る。刃部は丸刃で側縁が認められる。	
29-00241	石葺 打製石片	38-R-19 完全	長14.2 幅6.2 厚2.3 重191.2	黒色頁岩	両側縁に狭い切りが入る。刃部は丸刃である。表面に大きく原磨面を残す。	

遺構外出土遺物④-1

遺物番号 図版番号	遺物種 名	出土層位 番号	量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (右素材は埋目録)	形状・技法等の特徴	備 考
29-00242	石葺 打製石片	48-O-6 完全	長17.60 幅6.20 厚1.80 重224.9	黒色頁岩	両側縁にやや平潤めに狭り入るもので、素材の割片の形状を利用して作り、調整側縁は最小限にとどめている。	
29-00243	石葺 打製石片	48-Q-3 完全	長12.2 幅6.8 厚1.2 重127.2	黒色頁岩	両側縁にやや平潤めに狭り入る。刃部は丸刃となる。原磨面は側縁に残る。	
29-00244	石葺 打製石片	48-P-3 一部欠損	長12.60 幅6.10 厚1.20 重181.5	黒色頁岩	両側縁に平く狭り入る。刃部は丸刃となる。表面に原磨面が残る。	

遺構外出土遺物①-2

遺物番号 図録番号	遺物種 類	出土層位 遺存層	寸法 (mm)	構成・色調・粘土 (石素材は発目使)	形状・技法等の特徴	備 考
30-00245	石製 打錠石	38-T-16 4/3塊	長1.40 幅10.20 厚2.20 重68.6	黒色頁岩	両側面にやや平めに切りを入れる。打錠はやや丸みとなる。表面に原産地の残。	
30-00246	石製 砥石	38-T-19 完形	長10.40 幅5.15 厚2.15 重53.7	砥石	板状で形状は四角形に近いもので、表面面を砥石の面として使用している。	
30-00247	石製 砥石	39-C-16 1/2塊	長15.1 幅5.25 厚1.85 重18.2	砥石	板状で、形状は四角形に近くと推定される。表面面を使用している。	
30-00248	石製 砥石	38-F-20 1/4塊	長5.4 幅4.7 厚1.9 重11.7	粗粒輝石安山岩	扁平であるが、形状は楕円形となるものと考えられる。表面面に磨削の跡が確認できる。	
30-00249	石製 砥石	48-T-5 4/3塊	長5.25 幅4.65 厚1.15 重38.6	粗粒輝石安山岩	板状のもので、形状は楕円形となるもので、表面面を使用している。	
30-00250	石製 砥石	39-C-19 2/3塊	長5.65 幅4.05 厚2.0 重186.1	砂岩	板状のもので、形状は楕円形となるもので、表面面を使用している。	
30-00251	石製 砥石	59-L-2 完形	長11.3 幅3.35 厚2.1 重119.4	実質玄武岩	楕円形のもので、下部部に磨削が確認できる。また表面や側面に磨痕も確認できる。	

遺構外出土遺物②

遺物番号 図録番号	遺物種 類	出土層位 遺存層	寸法 (mm)	構成・色調・粘土 (石素材は発目使)	形状・技法等の特徴	備 考
30-00252	石製 磨石	49-G-14 ほぼ完形	長13.95 幅6.25 厚3.90 重454.1	ホルンフェルス	表面面と側面に磨削が認められる。表面面と側面を磨削としても使用している。	
30-00253	石製 磨石	49-D-14 4/3塊	長13.35 幅5.95 厚5.00 重338.2	実質玄武岩	下部部は欠損している。側面に磨削が認められる。表面面と側面に磨痕が残る。	
30-00254	石製 磨石	49-D-15 4/3塊	長11.0 幅7.6 厚4.2 重562.6	粗粒輝石安山岩	形状に近いもので、下部部は欠損する。側面と表面に磨削が認められる。表面面、側面に磨痕として使用。	
30-00255	石製 磨石	49-Q-4 3/5塊	長8.40 幅7.80 厚5.10 重544.8	石炭層砂岩	楕円形のもので、先端に磨削が集中している。平らな表面は磨削としても使用している。	
30-00256	石製 磨石	38-S-20 完形	長15.25 幅6.7 厚3.05 重66.7	長粒粗輝石安山岩	楕円形のもので、側面は三角形となる。表面面を磨削として磨削に使用し、磨痕が観察される。	
30-00257	石製 磨石	49-A-13 完形	長14.1 幅5.8 厚4.9 重554.1	粗粒輝石安山岩	やや不定形な楕円形を呈するもので、表面面と平らな側面を磨削として使用している。	
30-00258	石製 磨石	48-T-1 一部欠損	長20.40 幅7.35 厚5.50 重1127.1	粗粒輝石安山岩	楕円形、表面面を磨削として使用している。また縁切り状に5分割されており、磨削されている。	
30-00259	石製 磨石	47-V層 完形	長15.60 幅6.35 厚4.25 重617.2	溶結凝灰岩	楕円形、表面面と側面を磨削として使用している。	

遺構外出土遺物③

遺物番号 図録番号	遺物種 類	出土層位 遺存層	寸法 (mm)	構成・色調・粘土 (石素材は発目使)	形状・技法等の特徴	備 考
30-00260	石製 磨石	48-Q-2 完形	長1.90 幅4.40 厚3.85 重88.4	粗粒輝石安山岩	楕円に近いもので、丸みを帯びる断面全体を磨削として使用している。	
30-00261	石製 磨石	一層 完形	長4.62 幅4.25 厚3.5 重90.1	石炭層砂岩	楕円に近いもので、表面面と右側面を磨削として使用している。また側面に磨削が認められる。	
30-00262	石製 磨石	48-P-1 完形	長3.85 幅3.2 厚2.75 重44.9	粗粒輝石安山岩	楕円に近いもので、表面面と右側面を磨削として使用している。使用は磨削で表面が磨削になっている。	
30-00263	石製 磨石	48-N-2 完形	長4.9 幅4.1 厚3.5 重41.5	粗粒輝石安山岩	楕円に近いもので、表面面を磨削として使用している。	
30-00264	石製 磨石	39-A-18 完形	長4.40 幅2.40 厚2.20 重31.8	流紋岩	厚みのある楕円形のもので、表面面と右側面に磨痕がある。側面部には使用のための磨痕が浮かぶことになっている。	
30-00265	石製 磨石	59-L-2 完形	長3.35 幅1.45 厚3.30 重109.3	粗粒輝石安山岩	厚みのある不定形なもので、表面面と右側面を磨削として平らに使用する。磨削が浅い。	
30-00266	石製 磨石	48-Q-3 完形	長5.7 幅3.7 厚3.5 重96.4	粗粒輝石安山岩	厚みのある不定形なもので、表面面と右側面を磨削として使用する。磨削が浅い。	
30-00267	石製 磨石	48-Q-4 完形	長5.7 幅3.8 厚3.5 重99.7	粗粒輝石安山岩	厚みのある不定形なもので、表面面と両端と両側面を磨削として使用する。	
30-00268	石製 磨石	真土 完形	長7.50 幅3.10 厚1.9 重119.1	流紋岩	厚みのある三角形の形状のもので、表面面と下部面を磨削として使用する。	
30-00269	石製 磨石	49-G-17 完形	長6.25 幅5.70 厚5.45 重276.4	粗粒輝石安山岩	楕円に近いもので、表面面と右側面を磨削として使用している。磨削は平らに磨かれている。	
30-00270	石製 磨石	49-F-13 完形	長9.75 幅8.95 厚4.50 重752.7	粗粒輝石安山岩	厚みのある楕円形に近いもので、表面面を磨削として使用している。表面は側面に磨削が確認できる。	
30-00271	石製 磨石	47-V層 ほぼ完形	長7.95 幅7.8 厚3.3 重147.0	花崗岩	楕円に近いもので、表面面を磨削として使用している。上部部には磨削が確認される。	
30-00272	石製 磨石	45-O-1 完形	長9.2 幅7.4 厚4.3 重282.5	粗粒輝石安山岩	不定形なやや厚みのあるもので、表面面と下部面を磨削として使用している。	
30-00273	石製 磨石	59-L-1 完形	長10.6 幅9.3 厚3.2 重244.3	石炭層砂岩	不定形なやや厚みのあるもので、表面面と側面を磨削として使用している。磨削は平らに磨かれている。	
30-00274	石製 磨石	39-C-20 完形	長7.7 幅6.4 厚4.15 重215.7	粗粒輝石安山岩	やや厚みのあるもので、表面面と右側面を磨削として使用する。	

遺構外出土遺物④-1

遺物番号 図録番号	遺物種 類	出土層位 遺存層	寸法 (mm)	構成・色調・粘土 (石素材は発目使)	形状・技法等の特徴	備 考
30-00275	石製 磨石	49-H-14 2/3塊	長4.3 幅6.5 厚4.3 重43.6	粗粒輝石安山岩	楕円形のもので、表面面を磨削として使用する。側面の一部に磨削が認められる。	
30-00276	石製 磨石	39-E-14 1/2塊	長6.5 幅7.1 厚4.05 重237.0	粗粒輝石安山岩	表面面を磨削に使用する。側面に磨削が認められる。側面は取りまわされている。	
30-00277	石製 磨石	49-G-20 完形	長6.05 幅2.9 厚1.6 重11.9	黒色頁岩	板状の楕円形のもので、表面面を磨削として使用している。磨痕には磨削が認められる。	
30-00278	石製 磨石	48-Q-3 完形	長5.55 幅4.2 厚2.1 重66.2	粗粒輝石安山岩	板状の楕円形のもので、表面面を磨削として使用している。	

遺構外出土遺物①-2

遺物番号 図説番号	遺物種 類	出土層位 遺存 層	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・粘土 (石素材は灰目録)	形状・技法等の特徴	備 考
30-00278	石磨 磨石	49-D-5 完形	長5.49 幅5.00 厚2.05 重81.1		楕円形石山笠	楕円の磨石のもので、表面を磨面として使用している。表面には磨痕の痕がある。
30-00286	石磨 磨石	49-Q-4 完形	長6.1 幅3.6 厚3.0 重113.7		楕円形石山笠	楕円形で、表面に磨面を持つので、表面には磨痕が認められる。
30-00281	石磨 磨石	49-A-10 完形	長5.9 幅5.5 厚3.2 重122.4		楕円形石山笠	楕円形で、表面に磨面を持つので、表面と側面に磨痕が認められる。
30-00282	石磨 磨石	表土 完形	長6.15 幅4.85 厚2.0 重56.0		円縁形	楕円の不定形のもので、表面と右側面を磨面として使用している。
30-00283	石磨 磨石	表土 完形	長7.49 幅4.65 厚2.25 重99.1		楕円形	不定形のもので、表面を磨面として使用している。表面には磨痕が認められ、表面には磨痕の痕がある。
30-00284	石磨 磨石	30-O-20 完形	長4.40 幅3.90 厚2.85 重92.7		楕円形	表面を磨面として使用している。両端部には集中して磨痕が認められ、磨石としても使用されている。
30-00285	石磨 磨石	30-S-5 完形	長6.95 幅4.6 厚3.25 重156.2		楕円形石山笠	楕円形で表面に磨面を持っている。表面は磨石に使用され、磨面は磨石からになっている。
30-00286	石磨 磨石	30-T-1 完形	長7.5 幅4.9 厚2.7 重172.2		円縁形	不定形で表面を磨面として使用している。
30-00287	石磨 磨石	30-T-2 完形	長6.85 幅4.90 厚3.65 重205.2		楕円形石山笠	楕円形で表面と右側面を磨面として使用している。
30-00288	石磨 磨石	48-S-7 完形	長11.05 幅4.35 厚2.7 重209.2		石山笠	楕円形で表面と左側面を磨面として使用している。磨面は磨石のため磨石からになっている。
30-00289	石磨 磨石	49-A-10 完形	長6.00 幅5.50 厚2.10 重125.20		楕円形	楕円形で表面を磨面として使用し、磨石から磨面になっている。又磨石としては確認できないが、磨石を磨石としている。
30-00290	石磨 磨石	49-Q-13 完形	長12.1 幅7.1 厚3.8 重479.8		楕円形石山笠	楕円形で表面を磨面として使用している。磨面は磨石のため磨石からになっている。

遺構外出土遺物②

遺物番号 図説番号	遺物種 類	出土層位 遺存 層	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・粘土 (石素材は灰目録)	形状・技法等の特徴	備 考
30-00291	石磨 磨石	48-N-4 完形	長5.60 幅6.20 厚4.60 重483.		楕円形石山笠	楕円形で表面を磨面として使用している。磨面は磨石のため磨石からになっている。
30-00292	石磨 磨石	49-E-18 完形	長10.2 幅9.45 厚3.8 重526.3		楕円形石山笠	楕円形で表面を磨面として使用している。磨面は平らに磨きまわされており、磨石使用のため磨石からになっている。
30-00293	石磨 磨石	30-S-19 V層完形	長12.1 幅6.6 厚4.3 重594.4		石山笠	楕円形で表面を磨面として使用している。
30-00294	石磨 磨石	30-T-19 完形	長13.05 幅9.8 厚4.5 重887.6		円縁形	楕円形で表面を磨面として使用している。磨面は平らに磨きまわされている。
30-00295	石磨 磨石	47-V層 完形	長11.60 幅9.25 厚4.60 重714.1		楕円形石山笠	楕円形で表面に磨面を持っている。表面に磨痕が散見される。表面には磨痕が認められる。
30-00296	石磨 磨石	49-D-13 完形	長10.7 幅6.75 厚4.9 重515.5		楕円形	表面を磨面として使用し、また表面の中央付近には磨痕を加えている。磨石として磨面が認められる。
30-00297	石磨 磨石	49-E-15 完形	長12.5 幅9.4 厚4.1 重655.7		楕円形石山笠	表面が良く磨面として使用されており、磨面が良好に磨かれている。表面中央付近には磨痕の痕がある。
30-00298	石磨 磨石	30-B-20 完形	長12.5 幅7.2 厚3.6 重486.3		楕円形石山笠	楕円形で表面を磨面として使用している。磨面は磨石のため磨石からになっている。表面中央付近に磨痕が認められる。

遺構外出土遺物③

遺物番号 図説番号	遺物種 類	出土層位 遺存 層	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・粘土 (石素材は灰目録)	形状・技法等の特徴	備 考
30-00299	石磨 磨石	表土 4/5焼	長10.4 幅6.5 厚3.9 重295.9		楕円形石山笠	表面と右側面に1箇所ずつ凹部を持ち、表面は磨面としても使用。表面中央には磨痕が認められ、表面は磨石からになっている。
30-00300	石磨 磨石	30-T-13・ 49-C-1	長12.75 幅6.9 厚3.95 重295.9		楕円形石山笠	表面に1箇所ずつ凹部を持つ。表面は磨面としても使用される。表面は磨石からになっている。
30-00301	石磨 磨石	49-F-12 凹部欠損	長7.85 幅6.35 厚5.0 重265.5		楕円形石山笠	表面に1箇所凹部を持つ。表面と右側面は磨面として使用している。
30-00302	石磨 磨石	30-E-3 完形	長9.8 幅5.35 厚3.8 重236.3		楕円形石山笠	表面に1箇所ずつ凹部を持つ。表面の中央と上部が磨面として使用される。表面と右側面は磨面として使用している。
30-00303	石磨 磨石	30-T-2 完形	長9.3 幅8.0 厚4.7 重431.3		楕円形石山笠	表面の中央に1箇所凹部を持つ。表面の中央部分に磨痕が残り、又磨石として使用し、磨石の痕が認められる。
30-00304	石磨 磨石	49-F-18 完形	長10.4 幅7.15 厚4.1 重448.9		楕円形石山笠	表面に2箇所凹部が認められる。表面の中央には磨痕が認められる。表面は磨面として使用されている。
30-00305	石磨 磨石	30-T-20 凹形	長11.2 幅7.35 厚4.1 重361.4		楕円形石山笠	表面に2箇所、表面に3箇所凹部が認められる。表面は磨面として使用され、中央には磨痕の痕が認められる。
30-00306	石磨 磨石	30-E-20 完形	長10.5 幅8.7 厚4.8 重521.4		楕円形石山笠	表面に2箇所、表面に1箇所凹部が認められる。表面は磨面として使用され、磨石の痕が認められる。
30-00307	石磨 磨石	49-D-16 2/3焼	長9.1 幅7.4 厚3.4 重282.8		楕円形石山笠	楕円形のもので、表面に1箇所、表面に2箇所凹部が認められる。表面は磨面として使用されている。
30-00308	石磨 磨石	49-F-10 完形	長13.6 幅9.25 厚4.4 重695.4		楕円形石山笠	表面に1箇所、表面に1箇所、凹部が認められる。表面は磨面として使用され、磨石も認められる。

遺構外出土遺物④

遺物番号 図説番号	遺物種 類	出土層位 遺存 層	量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・粘土 (石素材は灰目録)	形状・技法等の特徴	備 考
30-00309	石磨 磨石	30-S-19 4/5焼	長29.8 幅26.5 厚9.5 重2989.3		楕円形石山笠	縁付きのもので、手前縁を付けに磨き出し口とされている。表面には磨痕を複数持つ。
30-00310	石磨 磨石	30-T-19 1/2焼	長24.9 幅26.35 厚7.3 重4941.2		楕円形石山笠	縁付きのもので、両端を欠損するため形状は不明である。表面には凹部を複数持つ。

富田下大日遺跡 諸元

遺構外出土遺物②

遺物番号 図記番号	遺物種 定 名	出土単位 定 名	寸 法 (cm) 重 量 (g)	構成・色調・粘土 (石室材は図記番)	形状・技法等の特徴	備 考
29-00311	石室 石皿	伊-G-20 完形	長22.10 幅25.7 厚7.00 重7,608.60	粗粒輝石状山岩	縁なしのもので、表面は平坦となっている。裏面には凹部と敲打痕が認められる。	
29-00312	石室 石棒	表探 完形	長40.5 幅15.5 厚14.7 重12,000	グイサイト	大物同形状。表面は平滑加工。基部は形状を整えるため敲打痕が認められる。敲打を集中して加えられた痕跡が認められる。	



群馬県埋蔵文化財調査事業団
調査報告第372号

富田漆田遺跡富田下大日遺跡群 〈本文編〉

一般国道17号(上武国道)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2006年(平成18年)3月3日 印刷

2006年(平成18年)3月13日 発行

編集・発行/群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2

電話 (0279) 52-2511 (代表)

印刷/朝日印刷工業株式会社